

平成30年度交付  
市民企画事業補助金  
成果報告書



八王子市

令和元年(2019年)7月

あなたのみちを、  
あるけるまち。  
八王子

# 目次

1	市民企画事業補助金の概要	1
2	事業成果報告等の経過	2
3	交付事業一覧表	3
4	事業成果報告（成果報告書・収支決算書）	
	（1）外国人の支援・交流事業	5
	（2）一緒に遊ぼう！一緒に創ろう！みはらしプレーパーク@八王子	9
	（3）八王子の歴史紙芝居制作事業	13
	（4）難病を元気にする！！（難病カフェ ラ・フェルマータ）	17
	（5）地域食堂の立ち上げ	21
	（6）自助具制作・普及による肢体不自由者・高齢者の自立促進活動の活性化	25
	（7）みんなのハロウィン（街を知り商店と繋がる周遊型イベント）	29
	（8）高齢者のための八王子ニュータウン地域住民主体のノルディックウォー キング介護予防事業	33
	（9）地域の自然資源を活かした里山体験教室事業	37
	（10）八王子市 犬猫殺処分ゼロミッション 保護活動事業	41
	（11）説経節研究 十代目薩摩若太夫CD集の刊行	45
	（12）HACHIDORI ～HACHIOJI ROCK DREAM	49
5	成果報告会アンケート結果	53
6	交付団体連絡先一覧	60

本書では、各団体の事業成果報告及びそれに対する自己評価について、原則として、団体から提出された原稿をそのまま掲載しています。

# 1 市民企画事業補助金の概要

## (1) 市民企画事業補助金とは

市民企画事業補助金は、市内で活動する非営利団体が、地域の課題の解決や、よりよい市民生活の実現のために、自ら企画立案し実施する事業について、市がその経費の一部を補助するものです。この補助金が有効に活用されるよう、補助対象事業は公募とし、厳正な審査を経て決定します。

## (2) 補助の内容

補助対象事業は、以下の2部門に分けて募集し、決定します。応募することができるのはA活動支援部門、B事業実施部門、合わせて1団体1事業です。

	A 活動支援部門	B 事業実施部門
内 容	この部門では、既に公益的な活動に取り組んでいるが活動基盤が整っていない団体やこれから公益的な活動に取り組もうとする団体が、自らの活動を広く紹介する事業に要する経費を補助します。ただし、計画段階での事業費が5万円以上のものであります。	この部門では、市民活動団体が自立運営を目標に企画提案する事業や将来市と協働で実施する事業として企画提案するために試行する事業の実施経費の一部を補助します。ただし、計画段階での事業費が10万円以上のものとします。
補助金額	必要な経費の10分の10 (千円未満切り捨て、上限10万円)	① 必要な経費の2分の1以内 (千円未満切り捨て、上限100万円) ② 2回目以降は対象事業費の1/3以内または前回交付決定額の80%のいずれか低い額。ただし、事業の性質上、市長が特に認めた場合は、①とします。
補助回数	同一団体2回まで	同一の事業に対して3回まで

## (3) 補助事業の採択

補助対象事業の審査は、事務局（協働推進課）による応募書類の確認、市の担当課が面接により応募事業の内容確認・評価を行う予備評価及び外部委員で構成される「市民企画事業補助金申請事業評価会議」による評価を基に行います。

また、応募団体自ら事業の説明を行う「公開プレゼンテーション（B 事業実施部門のみ）」や、公開プレゼンテーションでの市民からの意見、継続事業については前年度事業の進捗状況などを参考にします。

評価・審査項目は下表のとおりです。

区分	A 活動支援部門	B 事業実施部門
担当課による 確認・評価	1. 公益性 2. 期待度	1. 政策合致性 2. 計画性 3. 八王子らしさ
評価会議 による評価	1. 公益性 2. 期待度 3. 補助金交付の必要性	1. 公益性 2. 計画性 3. ニーズの高さ 4. 創意工夫 5. 補助金交付の必要性

※ この概要は平成30年度交付対象事業についてのものであり、今後変更される可能性があります。詳細は市のホームページをご覧ください。

<市民企画事業補助金のホームページアドレス>

<http://www.city.hachioji.tokyo.jp/kurashi/shimin/001/003/index.html>

## 2 事業成果報告等の経過

### 〈1〉 公開プレゼンテーション

- 日 時 平成30年(2018年)4月14日(土) 13:30~17:15
- 場 所 生涯学習センター(クリエイトホール)11階 視聴覚室
- 参加団体 12団体
- 審査の一環として、事業実施部門に応募した全ての団体が、評価会議委員と一般市民の方々の前で、プレゼンテーションを行いました。



### 〈2〉 成果報告会

- 日 時 令和元年(2019年)6月22日(土) 13:30~16:30
- 場 所 生涯学習センター(クリエイトホール)11階 視聴覚室
- 報告団体 12団体
- 平成30年度に補助金を受け実施した事業について、評価会議委員と一般市民の方々の前で、成果報告を行いました。



### 3 交付事業一覧表

(単位 円)

区分	回数	事業名	補助対象事業費	補助金交付額
活動支援部門	新	外国人の支援・交流事業	100,684	100,000
	新	一緒に遊ぼう！一緒に創ろう！みはらしプレーパーク@八王子	125,079	100,000
	新	八王子の歴史紙芝居制作事業	105,816	100,000
	②	難病を元気にする！！（難病カフェ ラ・フェルマータ）	122,598	100,000
	小計			454,177
事業実施部門	新	地域食堂の立ち上げ	6,000,248	1,000,000
	新	自助具制作・普及による肢体不自由者・高齢者の自立促進活動の活性化	851,579	400,000
	新	みんなのハロウィン（街を知り商店と繋がれる周遊型イベント）	2,133,438	1,000,000
	新	高齢者のための八王子ニュータウン地域住民主体のノルディックウォーキング介護予防事業	751,166	346,000
	新	地域の自然資源を活かした里山体験教室事業	1,002,447	500,000
	②	八王子市 犬猫殺処分ゼロミッション 保護活動事業	2,432,315	800,000
	②	説経節研究 十代目薩摩若太夫CD集の刊行	760,091	250,000
	③	HACHIDORI ～HACHIOJI ROCK DREAM	1,973,955	640,000
小計			15,905,239	4,936,000
総計			16,359,416	5,336,000

## 4 事業成果報告

(成果報告書・収支決算書)

平成30年度市民企画補助金 交付事業成果報告書

事業名	外国人の支援・交流事業		
団体名	NPO 法人 八王子国際交流センター		
事業費	100,684 円	補助金額	100,000 円

事業の目的・内容	<p>目的：法務省は最近日本に在留する外国人が2018年末時点で約273万人となったと発表した。日本経済、社会のグローバル化の進展に加えて、少子高齢化が労働人口の減少をもたらし、日本企業が外国人を雇用せざるをえない状況になってきている。このことが長期在留の外国人（技能実習生等）の増加が続いている要因となっている。これに加えて、今年の4月から少子高齢化による企業の人手不足対策として、外国人労働者の受け入れ拡大を認めた「改正入管法」が施行された。今後ますます外国人の長期在留者の増加が見込まれる。これらの外国人が生活する地域社会及び働く企業の職場で日本人と良好なコミュニケーションを持ち、お互いの文化、習慣を理解しあい、外国人が地域、職場等の構成員（市民）として安心して、生活し、働くことが出来る環境整備が必要である。</p> <p>当団体の主たる事業である(1)日本語教育学習支援(2)よろず相談・サポートは上記の長期在留外国人が地域の構成員（市民・労働者）として活躍できるための環境整備の重要な事業と考える。</p>
	<p>内容：(1)日本語教育学習支援 マンツーマン方式により外国人学習者の現在の日本語能力（初心者から日本語能力検定N1取得）および学習者のニーズを重視した学習をする。また学習を通して、地域社会、日本企業職場で良好なコミュニケーションについてのアドバイスを行う。</p> <p>(2)よろず相談・サポート 相談のみだけでなく、相談の内容によっては、相談案件の解決までサポートしている。 関係諸公官庁・病院等の同伴・交渉・通訳等</p>

事業の活動実績	4月	*日本語教育学習支援 ①第4を除く毎火曜日 13:00~15:00 ②毎水曜日 13:00~15:00 ③毎土曜日 15:00~17:00 *よろず生活相談・サポート・サロン活動 毎第1火曜日 15:00~17:00	講師 8名 学習者 15名 相談者 1名
	5月	同上	講師 9名 学習者 20名 相談者 1名
	6月	同上	講師 10名 学習者 21名
	7月	同上	講師 11名 学習者 22名 相談者 1名
	8月	同上	講師 12名 学習者 20名 相談者 1名
	9月	同上	講師 12名 学習者 26名
	10月	同上	講師 13名 学習者 27名 相談者 1名
	11月	同上	講師 13名 学習者 29名
	12月	同上	講師 13名 学習者 30名 相談者 1名
	1月	同上	講師 13名 学習者 29名
	2月	同上	講師 12名 学習者 28名
	3月	同上	講師 12名 学習者 30名 相談者 1名

\*日本語教育学習支援の学習室およびよろず相談の活動の場所は東急スクエアビル11階地球プラザ会議室



日本語教育学習支援

よろず生活相談・サポート



事業の成果・効果	<p>*日本語教育学習支援 最近の外国人の長期在留者の増加に伴い、日本語学習意識に変化がみられ、話すこと優先から、読み書きの必要性を認識したオールマイティな日本語学習の希望者が増えている。これは技能実習生も含み、働く外国人の増加が起因と思われる。ちゃんとした日本語を学習し、専門、技術的資格を取得して高収入の仕事に就きたいからである。日本語能力検定受験希望者も多くなっている。最近話題になっている、少子高齢化が原因の日本企業の人手不足の対応には外国人に頼らざるをえないと政府も認めている。急ぎよ日本国は今年4月1日から「人手不足」対策として、「入管法」を改正して、外国人労働者の受け入れ拡大制度を実施した。この制度は受け入れ者には現在より厳しい日本語能力が求められるようである。このような状況を外国人が理解し、日本に長期に在留し、地域の構成員、日本企業の職場の構成員として日本人との良好なコミュニケーションの方法である日本語学習について認識を改めて、日本語学習をしていることは良い成果である。このような外国人が減少続けている日本の労働人口をカバーしてくれることを期待したい。</p> <p>*よろず相談・サポート活動 相談活動は受け身的な活動であり、件数は少ないが出来る限りサポート、解決まで対応することに心がけている。(付き添い、通訳) 諸公官庁・諸公的サービス機関・八王子国際協会等相互協力システムで対応している。 初年度としては件数。内容は充実していると思う。</p>
----------	---

自己評価	事業は申請どおり実施できた	1 できた ② 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった
	事業の実施によって、期待効果をあげることができた	1 できた ② 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった
	実施計画書と実施報告書の活動費内訳について	1 ほとんど同じ ② 多少の変更があった 3 大幅に変更している 実施計画に若干の収入不足(会費収入)があったこと。支出では事業開始して1年半であつたので、教材費(学習用書籍等整備)が増加してしまった。
	その他、評価すべき点等	法人設立2年目実質の活動期間1年半であつたが、思った以上の活動、実績があつたと感じている。これは法人の初期体制整備に市の補助金を役立たせてもらったからであると感謝している。

今後の事業	<p>この事業は継続事業である。日本の現状から、今後少子高齢化が続くと4月から始まった外国人労働者の受け入れ拡大を機に、継続して行われる技能実習生の受け入れ等外国人の長期在留者は増加していく。これら外国人が地域社会および企業職場で安心して、生活し、働くための環境整備として、日本語学習支援や長期在留中に発生する諸問題解決のための相談事業等が必要とされる。当法人としては現在の活動は何としても続けていく。それには、補助期間終了後、事業運営経費が確保され、財政的に安定した運営できるよう鋭意努力していく方針である。</p>
-------	---



市民企画事業収支計算書

事業の名称		外国人の支援・交流事業	
団体名		NPO法人 八王子国際交流センター	
項目	内容・内訳		決算額(円)
<b>収入の部</b>			
1	市民企画事業補助金 (今回使用額)		100,000
2	その他助成金収入		
3	事業による収入 ( )		
4	団体運営費からの繰入金	会費:1,200円×35名 1,000円×2名 600円×4名 前年繰越金 183円 繰入金戻し▲45,899円	684
5			
6			
合 計			100,684
<b>支出の部</b>			
1	消耗品費		4,209
2	印刷製本費	入会案内パンフレット14,472円他	24,284
3	謝礼・報酬	1,000円×13回	13,000
4	会場借上料・使用料		
5	交通費	別添明細書のとおり (※明細を添付してください)	2,880
6	通信費		
7	教材費	日本語学習書23冊他	56,311
8			
9			
10			
合 計			100,684

※ あらかじめ記載してある項目以外に、事業に関わるものがあれば全て記載してください。  
 ※ 領収書等、事業に関わる支払を証明する書類の写しを必ず添付してください。

## 平成30年度市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	一緒に遊ぼう！一緒に創ろう！みはらしプレーパーク@八王子		
団体名	みはらしプレーパークの会		
事業費	125,079円	補助金額	100,000円

事業の目的・内容	<p><b>目的</b></p> <p>昨今、テレビゲームやスマホの普及、塾や習い事など子ども達の生活環境の変化によって、外遊びの機会が減少し、子ども達は「時間」「空間」「仲間」の3つの「間」を失いつつある。</p> <p>里山や大きな公園など自然環境に恵まれた八王子であるにも関わらず、子ども達が自然に触れ合う機会や、子ども達同士が思い切り遊ぶことで育ち合う機会も少なくなって来ている。</p> <p>また、子育て世代の親においても、特に未就学児を抱える母親の孤立感や、外遊びをさせたくても一緒に遊ばせられる場が少ないなどの悩みを抱えており、子どもだけでなく親同士の交流の場としても、自然の中で一緒に楽しめる場が求められている。</p> <p>そこで、豊かな自然環境に恵まれたみなみ野の宇津貫緑地を拠点に、地域の子どもが自然の中で、主体的に自由に遊べる場を作り、子ども達に遊びの大切さを伝え、子どもの遊び場を地域で見守る環境を作る。さらに、遊び場に関わる地域の大人や親が交流し繋がる機会としていく。</p>
	<p><b>内容</b></p> <p>八王子みなみ野の宇津貫緑地を拠点に、未就学児から小学生の子供達の豊かな自然遊びを目的にしたプレーパークを開催し、広く八王子市の子育て世代の親子に体験してもらう機会を設け、プレーパークの活動のPRとともに、運営していく親たち担い手の育成を図る。</p> <p>具体的な活動として</p> <p>1) 宇津貫緑地で数回、プレーリーダーを呼んでプレーパークを開催し、親子でプレーパークを体験をしながら、子供達には自然遊びの機会を、親たちにはプレーパークの趣旨を伝えたり交流の場を設ける。</p> <p>2) プレーパークの活動趣旨と運営について学ぶ講演会を開催する。</p>

事業の活動実績	<p>【プレーパーク開催】</p> <p>① 日時：5月12日(土) 10:00～16:00 場所：宇津貫緑地 参加者：約80人</p> <p>② 日時：9月1日(土) 10:00～16:00 場所：宇津貫緑地 参加者：約150人</p> <p>③ 日時：12月1日(土) 10:00～16:00 場所：宇津貫緑地 参加者：約70人</p>
	<p>【団体リーフレット作成】</p> <p>平成30年10月4日完成(3,000部)。10月6日都立陵南公園で開催された親子イベントを筆頭に市内での親子イベント・親子広場、子育て関連施設にて配布。団体SNSへのアクセスも増える。</p>



事業の成果・効果	<p>プレーパーク開催時は毎回好評の声をいただいております、都度リピーターと新規参加者が混在していて、地域への定着と、周知拡大が認められる。団体の活動を紹介したリーフレットを作成し(10月/3,000部)、SNSとあわせてプレーパークの活動の趣旨を伝えることによって、主体的に参加する親子の存在が増えている。</p> <p>焚き火や木登り、木工製作、泥んこ遊びなど、普段はなかなかできない五感をフルに使った遊びを体験する機会となり、この場で‘初めての体験’をする子どもたちも多く見受けられる。親にとっても、手を出しすぎず、見守る雰囲気があり、親も子供ものびのびとできる場になっていると感じ取れる。「次はいつ?」「また参加したい!」という声を毎回聞くことができ、この場を求めている親子の多さを実感する。</p> <p>事業費外の活動でも、各月約2回開催している親子の外遊び・交流の場「野遊びの会」も合わせ、子供の外遊びの機会を提供するのみならず、親にとっても、気負わず子どもと参加できる場、子育てや自身の悩みを相談し合える場、自分の子以外も見守りあう‘育て合い’の場として位置付けられているのを感じ、昨今報じられている‘孤育て’や‘ワンオペ育児’に類する悩みを解消する場のひとつになり得ているのを実感する。</p> <p>また、宇津貫緑地のプレーパーク以外にも、10月6日の都立陵南公園での親子イベント「こもれびピクニック」や3月21日に富士森公園で開催された「子育てのWA!!FES♪」に段ボール遊び広場で参加し、他団体と積極的にタイアップすることでより多くの親子に遊びの機会を与えるとともに、本団体の活動内容をアピールし、プレーパークという場をより多くの親子に知ってもらうことが出来たと認識している。</p>
----------	---

自己評価	事業は申請どおり実施できた	<p>1 できた <input checked="" type="radio"/> 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった</p> <p>-----</p> <p>主な理由(3、4と答えた場合のみ)</p>
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	<p>1 できた <input checked="" type="radio"/> 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった</p> <p>-----</p> <p>主な理由(3、4と答えた場合のみ)</p>
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	<p>1 ほとんど同じ <input checked="" type="radio"/> 2 多少の変更があった 3 大幅に変更している</p> <p>-----</p> <p>主な理由(2、3と答えた場合のみ)</p> <p>計画では6月に開催予定していた「プレーパークって何?一緒に学ぼう!一緒に創ろう!」が会場と会員、依頼講師の都合により開催できず、3月にプレーパークと同時開催を試みたが、天候不良により中止となった。</p>
	その他、評価すべき点等	<p>事業費外ではあるが、10月6日の都立陵南公園での親子イベント「こもれびピクニック」また、3月21日には富士森体育館での親子イベント「子育てのWA!!FES♪」に段ボール遊び広場で参加し、本団体のリーフレット配布とともに活動の紹介パネルを作成し、本団体の活動およびプレーパークや外遊びの大切さを多くの親子にアピールした。プレーパークの趣旨を理解した協力者の申し出も増えた。</p>

※ 自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自己診断です。

今後の事業展開	<p>プレーパークに参加した親子からは好評の声が大変多く、今後も開催を続けていくとともに、引き続きプレーパークという場の趣旨を理解してもらうためのPRを続け、「みんなで創る」場の趣旨を伝えていきながら、場を運営していくスタッフの増強、育成にも計りたい。事業費外でも小さな外遊びの場を開き、八王子の親子の外遊びの場を提供していきたい。</p>
---------	--

市民企画事業収支決算書

事業の名称		一緒に遊ぼう！一緒に創ろう！みはらしプレーパーク@八王子	
団体名		みはらしプレーパークの会	
項目		内容・内訳	決算額(円)
<b>収入の部</b>			
1	市民企画事業補助金 (今回使用額)		100,000
2	その他助成金収入		
3	事業による収入 ( )		
4	団体運営費からの繰入金	繰り入れ金(5,000円)、繰り戻し金(1,168円)	3,832
5	寄付・カンパ	プレーパーク開催時 カンパ金(5/12.9/1.12/1 3回分)	21,247
6			
合 計			125,079
<b>支出の部</b>			
1	消耗品費		8,813
2	印刷製本費		11,835
3	謝礼・報酬	プレーパーク¥15,000×4、リーフレットデザイン料 ¥10,000	70,000
4	会場借上料・使用料		
5	保険料	社協レクリエーション保険 4,008円×4回	16,032
6	備品購入費		18,399
7			
8			
9			
10			
合 計			125,079

※ あらかじめ記載してある項目以外に、事業に関わるものがあれば全て記載してください。  
 ※ 領収書等、事業に関わる支払を証明する書類の写しを必ず添付してください。

平成30年度市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	八王子の歴史紙芝居制作事業		
団体名	八王子市郷土資料館ガイドボランティア 紙芝居会		
事業費	105,816円	補助金額	100,000円

事業の目的・内容	<p>目的</p> <p>八王子市にちなんだ人物・事績等をテーマとした紙芝居を制作、上演し、市民の郷土に対する理解を深め、愛着を育むことを目的とする。</p>
	<p>内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>郷土資料館集会室において、毎月1回、紙芝居を定期的に上演する。</li> <li>上演終了後、観客の理解を深めるため補足解説を行い、適宜質問を受ける。</li> <li>市民から依頼があれば、必要に応じて出張して上演する。</li> <li>旧作について適宜見直し改訂するとともに、併せて新作紙芝居の制作を行う。</li> </ul>

事業の活動実績	<p>・平成30年度の紙芝居上演実績（回数及び観客数）は以下のとおりである。</p> <p>① 館内での上演</p> <p>4月1回 9人 5月1回 7人 6月1回11人 7月1回 7人              8月3回69人 9月1回10人 10月1回33人 11月1回10人              12月1回 8人 1月1回 8人 2月1回28人 3月1回11人</p> <p>② 出張による上演</p> <p>8月2回134人 9月1回110人 11月1回43人 2月1回23人              総観客数 521人（前年比107.4%）              館内観客数211人（同83.4%） 出張観客数310人（同133.6%）</p> <p>・原則として定期上演会終了後に新作紙芝居「大久保長安」の制作検討会を開催することとし、臨時を含め、同検討会を計8回開催した。そして10月16日に完成し、同23日に郷土資料館において、お披露目上演会を行った。本作品の特徴としては次の点が挙げられる。</p> <p>① 吉田美江作の絵本を原作としつつ、八王子に限定されない、大久保長安の全国的な活動の業績を独自に盛り込んだ。</p> <p>② 従来の紙芝居のB4判サイズを、A3判に大型化した。合わせて同サイズの紙芝居舞台を購入し、観客にとって見やすいものにした。</p>
---------	--



様式9 (2枚目)

事業の成果・効果	<p>・館内における定期上演会は、当初の予定どおりすべて実施することができた。 出張による上演会も、前年以上の観客を動員することができ、従来、対象外であった観客を新たに取り込むことができたものと思われる。</p> <p>新作紙芝居「大久保長安」については、「内容が分かりやすい」、「絵が親しみやすい」、「大きくなって見やすい」など、おおむね好評であった。</p> <p>事業の成果・効果を図る手段として、上演終了時に観客にアンケート調査を行っているが、以下は、その感想欄の一部である。</p> <p>・八王子に40年も住んでいながらどんな歴史がある町なのか知らなかった。紙芝居で知ることができてよかった。</p> <p>・八王子にお城があり小田原城とのつながりも知りビックリした。「八王子城主 北条氏照」</p> <p>・松姫ものがたりを見て松姫さまのことが分かった。八王子の銘菓「松姫もなか」はいつも手土産にしていたが知らなかった。「松姫ものがたり」</p> <p>・大久保長安の事はよく知らなかった。紙芝居を見て「長安」は大きな功績を残した立派な人と分かりました。</p> <p>・近代的な八王子の街を歩いているが、空襲で焼け野原になったことを紙芝居で知りビックリした。また復興の早さはすごいと思った。「八王子空襲」</p> <p>以上から、初期の目的はおおむね達成できたように思われる。</p>
----------	--

自己評価	事業は申請どおり実施できた	① できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった ----- 主な理由 (3、4と答えた場合のみ)
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	① できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった ----- 主な理由 (3、4と答えた場合のみ)
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	① ほとんど同じ 2 多少の変更があった 3 大幅に変更している ----- 主な理由 (2、3と答えた場合のみ)
	その他、評価すべき点等	該当なし

※ 自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自己診断です。

今後の事業展開	<p>・引き続き定期及び出張上演会を円滑に運営する。そのためには、市の広報紙、ネットへの情報提供、チラシの作成など、広報活動を充実させ、一般市民への浸透を図りたい。</p> <p>・作品を充実させる。これまでに5作品を完成させているが、適宜内容を見直し、改訂作業を行うとともに、すべての作品のA3判への大型化を実現したい。さらに新たなテーマの下で紙芝居を企画・制作し、さらなる内容の充実を図りたい。</p> <p>・運営体制を強化する。会員の高齢化が認められるので、新たな会員を募集して、運営スタッフの充実を図りたい。</p>
---------	---

## 市民企画事業補助金交付事業収支決算書

事業の名称		八王子の歴史紙芝居制作事業	
団体名		八王子市郷土資料館ガイドボランティア 紙芝居会	
項目	内容・内訳		決算額(円)
<b>収入の部</b>			
1	市民企画事業補助金 (今回使用額)		100,000
2	その他助成金収入		
3	事業による収入 ( )		
4	団体運営費からの繰入金	会費等からの繰り入れ	5,816
5			
6			
合 計			105,816
<b>支出の部</b>			
1	印刷製本費	広報チラシ印刷代、紙芝居制作代	25,600
2	謝礼・報酬	紙芝居原画作成謝礼	60,000
3	紙芝居道具の購入	紙芝居舞台代	20,216
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
合 計			¥105,816

※ あらかじめ記載してある項目以外に、事業に関わるものがあれば全て記載してください。

※ 領収書等、事業に関わる支払を証明する書類の写しを必ず添付してください。

平成30年度市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	難病を元気にする！！(難病カフェ ラ・フェルマータ)		
団体名	特定非営利活動法人難病ネットワーク		
事業費	122,598 円	補助金額	100,000 円

事業の目的・内容	<p><b>目的</b></p> <p>難病患者、その家族だけでなく、難病患者を取り巻く全ての人に参加していただくことで、当事者だけの問題ではなく地域で支える意識が芽生える。希少難病であればある程情報は少なく、難病患者は、病気や生活、就学や就労など不安を感じて生活しています。「難病カフェ」に参加することで、仲間がいること、一人では無いことを感じてもらい、楽しく元気に、地域で安心して自立した生活を送る手助けができる。</p>
	<p><b>内容</b></p> <p>八王子市の難病患者やその家族、難病患者を取り巻く、医療関係者、地域住民、企業、行政などすべての方を対象とした、「参加型 難病カフェ」を、八王子市市内で年6回開催する。難病カフェは、情報の共有を図り、相互に“つながる”場とします。難病は、医療と結びつきながら生活をしていかなければなりません。受け身ではなく難病患者自ら勉強し、元気に自立した生活を遅れるように、6回のうち3回は講師をお招きし、難病について勉強します。</p>

事業の活動実績	<p><b>【講演会(3回)】</b></p> <p>2019年1月27日(日)</p> <p>講師:榎本哲氏</p> <p>演題:就労をテーマに難病を考える 第1回「自分でできるリスクマネジメント」</p> <p>於:八王子市由井市民センター みなみ野分館</p> <p>参加者:11名</p>
	<p>2019年2月16日(土)</p> <p>講師:磯田英徳氏</p> <p>演題:その時、大切な〇〇を守れる防災力アップ講座</p> <p>於:八王子生涯学習センター</p> <p>参加者:9名</p>
	<p>2019年3月24日</p> <p>就労をテーマに難病を考える 第2回「自分の強みを言葉にしてみる」</p> <p>於:八王子生涯学習センター</p> <p>参加者:8名</p>
	<p><b>【難病カフェ】</b></p> <p>難病カフェは、個別の相談や同じような疾患の方のグループ、お子さんが同席してグループなどで近い方で話をしたいという希望を受け、話しやすいように、難病ネットワークの事務局(みなみ野)やファミレス、喫茶店などで随時希望があった時に開催した。</p>





事業の成果・効果	<p><b>【講演会】</b>                  難病患者の就労問題は、発症年齢、疾患別、症状などにより個別な問題が多いのですが、就活や仕事を継続するうえで、自分自身を見つめ直し、病気を理解し伝えるという幅広いテーマで取り組みました。参加者の皆さんからは、有意義な時間であったと感想をいただいています。</p> <p>防災についての講演は、災害が起きた時、病気を持っている人は健常な人に比べてリスクがたぐさんあります。しかし、ちょっとした工夫があれば何とかなる！、常日頃からの準備が大切であるということ学びました。</p> <p>講演会の後に行う交流会では、参加者の皆さんの生活における不安や行政、社会、学校、職場に対する思いや疑問など共有することが出来たので良かったと思います。</p> <p>また、八王子市で難病に関わる方の参加もあり、皆さんそれぞれ、何とかしないとイケないという思いがあることがわかり心強いです。</p> <p><b>【難病カフェ】</b>                  カフェを行うための場所の確保、参加者の体調など考え、柔軟に集まる人の都合に合わせて、場所(ファミレス、喫茶店、当事務所)で開催いたしました。</p> <p>気軽にお茶やランチをしながら話ができるスタイルはいいかもしれません。</p> <p>八王子市の難病の実態がなかなか見えてこない中、情報がいきわたっていないこと、どこに相談してよいのかわからない、行政のサービスを必要としない難病患者が常に不安に感じているが、どうしてよいのかわからないといった姿がわかってきました。</p>
----------	---

自己評価	事業は申請どおり実施できた	1 できた    2 概ねできた    ③ あまりできなかった    4 ほとんどできなかった 主な理由 (3、4と答えた場合のみ) 講師をお招きしての講演会が、講師の都合もあり、集中してしまいました。
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	1 できた    ② 概ねできた    3 あまりできなかった    4 ほとんどできなかった 主な理由 (3、4と答えた場合のみ)
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	① ほとんど同じ    2 多少の変更があった    3 大幅に変更している 主な理由 (2、3と答えた場合のみ)
	その他、評価すべき点等	

※ 自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自己診断です。

今後の事業展開	<p>講演会は、患者自身が勉強する場、考える場として継続していきます。</p> <p>難病カフェを行ったことで、新たに兄弟支援の問題、親子関係の問題など浮き彫りになりました。これらの問題にも取り組みたいと考えます。難病カフェの開催は、定期的に決まった場所で行うことも必要であると考えるので模索してまいります。</p>
---------	--

## 市民企画事業収支決算書

事業の名称		難病を元気にする！！（難病カフェ ラ・フェルマータ）	
団体名		特定非営利活動法人難病ネットワーク	
項目	内容・内訳		決算額（円）
<b>収入の部</b>			
1	市民企画事業補助金		100,000
2	その他助成金収入		
3	事業による収入	参加費 500円×28人(のべ)	14,000
4	団体運営費からの繰入金		8,598
5			
合 計			122,598
<b>支出の部</b>			
1	消耗品費	プリンターインク、用紙他	18,013
2	印刷製本費	チラシ、ポスター(800枚)	8,068
3	謝礼・報酬	講師 @20,000円×3名=60,000円 ボランティア交通費相当謝礼 @2,000円×2名×3回=12,000円	72,000
4	交通費		
5	通信費	切手、はがき代	3,160
5	会場等使用料	八王子市生涯学習センター、由井市民センターみなみ野分館等使用料	15,800
7	雑費	お茶、菓子、よみっこ新聞広告宣伝	5,557
8			
合 計			122,598

※ あらかじめ記載してある項目以外に、事業に関わるものがあれば全て記載してください。

## 平成30年度市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	地域食堂の立ち上げ		
団体名	団地応援隊		
事業費	6,000,248円	補助金額	1,000,000円

事業の目的・内容	<p>目的 ①手作りの安価で美味しいお弁当・お惣菜で住民の健康を守る。</p> <p>②配食により孤立や孤独死を予防する。</p> <p>③配食により安否確認や生活支援、地域情報などを提供する。</p> <p>④会食の場を提供し、人と人のつながりをつくり住民同士の助け合いや見守りを促す。</p> <p>⑤子どもの食支援を通して保護者とつながり多世代交流を進める。</p>
	<p>内容①月・水・金曜日はお弁当とお惣菜の販売と配食。会食の場の提供。</p> <p>②火・木曜日はお惣菜の販売と会食の場の提供。必要に応じて配食。</p> <p>③土曜日は多様な活動（子どもや学生の料理教室、地域住民・子ども・学生の交流事業）</p> <p>④月～金曜日の午後2時から4時の間は住民の交流や研修の場の提供。</p> <p>⑤小学生や中学生の学校休業中（春・夏・冬休み）必要に応じて昼食を提供。</p>

事業の活動実績	<p>○平成30年1月20日 第1回地域住民の話し合い 「地域食堂の開設に向けて・・・企画書説明など」</p> <p>○平成30年3月18日 第2回地域住民の話し合い 「あつたらしいな～こんな地域食堂」</p> <p>○平成30年3月 「団地応援隊ニュース」第1号発行</p> <p>○ " 出資金募集開始</p> <p>○平成30年5月 UR都市再生機構施設使用申し込み</p> <p>○ " 店舗改修業者決定</p> <p>○ " 地域食堂ボランティア募集開始</p> <p>○平成30年6月 ボランティア説明会（23日）</p> <p>○平成30年7月 UR都市再生機構施設使用貸借契約締結</p> <p>○ " 店舗改修工事開始</p> <p>○平成30年8月 「団地応援隊ニュース」第2号発行</p> <p>○ " 登録ボランティア打合せ会（24日）</p> <p>○ " 店舗改修工事終了</p> <p>○ " 八王子保健所検査終了（31日）</p> <p>○平成30年9月 八王子消防署検査終了</p> <p>○ " たてキッチン“さくら”開店記念試食会（8日）</p> <p>○ " たてキッチン“さくら”開店（10日）</p>
---------	--



お惣菜・お弁当



様式9 (2枚目)

事業の成果・効果	<p>○来客者数 1日平均 82人 (9・10・11月)</p> <p>○来店者の約20%は男性客である。</p> <p>○配食は現在20人。住民や学生ボランティアにより配食している。配食の折に体調や通院の状況などが伺え、見守りができている。</p> <p>○食べきりサイズの安価な手作り惣菜を、毎日200パック～250パック準備しているがほぼ完売している。このことから住民に受け入れられていることが伺える。</p> <p>○ご近所の外出困難な方へ、買って届けるという住民同士の助け合いが見られる。</p> <p>○“食”を通し住民同士の見守りが生まれている。</p> <p>○店舗内での会食は孤食の解消につながり、会話や笑いのある食事で食欲も出てくると思われる。</p> <p>○毎日の12～13種類の惣菜から食べたいものを選ぶことは体にも心にも良い効果が出ていると思われる。</p>
----------	---

自己評価	事業は申請どおり実施できた	<p>①できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった</p> <p>-----</p> <p>主な理由(3、4と答えた場合のみ)</p>
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	<p>① できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった</p> <p>-----</p> <p>主な理由(3、4と答えた場合のみ)</p>
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	<p>1 ほとんど同じ ② 多少の変更があった 3 大幅に変更している</p> <p>-----</p> <p>主な理由(2、3と答えた場合のみ)</p> <p>厨房機器は中古機器を購入したので安価となった。 その分、計画以上の機器や物品の購入が出来、厨房が充実した。</p>
	その他、評価すべき点等	<p>地域の中に、“食”を通して助け合い・つながりが広がっている。</p>

※ 自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自己診断です。

今後の事業展開	<p>○配食について、必要としている人の掘り起しに務め、引きこもりや孤独死の予防につなげたい。このことについては、八王子市シルバーふらっと相談室や高齢者あんしん相談センター寺田とも連携していきたい。</p> <p>○学校休業中の食事支援について広報し、子どもの食支援を進める。(子供食堂)</p> <p>○サロンスペース(14:00～16:00)の活用について、交流の場として地域住民の利用を呼びかける。現在は、毎週金曜日「地域の学校の卒業生に送るコサージュ作り」、毎月第4水曜日「お一人さま講座」、毎月第4木曜日「さくら保健室」などを行っているが住民主体のサロンの活用を促していきたい。たてキッチン“さくら”が住民みんなのものとなるように。</p> <p>○大学生の料理教室や子どもや保護者の料理教室を実施する。失われた家庭の味を若い世代に伝えると共に、次の担い手の掘り起こしにもつながればと願っている。</p>
---------	---

市民企画事業補助金交付事業収支決算書

事業の名称		地域食堂の立ち上げ	
団体名		団地応援隊	
項目	内容・内訳		決算額(円)
<b>収入の部</b>			
1	市民企画事業補助金 (今回使用額)		1,000,000
2	出資金・寄付金	出資金(4,905,000円)、寄付金(309,000円)  <内訳> 役員からの出資金 3,750,000円 住民からの出資金 1,155,000円 住民からの寄付金 309,000円	5,214,000
合 計			6,214,000
<b>支出の部</b>			
1	内装・設備工事費	電気配線、ガス管設置、水道配管、空調設備等	5,000,000
2	厨房用具	冷凍冷蔵庫、シンク、電子レンジ、調理台、食器棚、他	640,208
3	食堂用具	テーブル、椅子、スツール、書棚、冷蔵ケース、他	322,448
4	配送料	4件	37,160
5	手数料	送金料金	432
6			
7			
8			
9			
10			
合 計			6,000,248

※ あらかじめ記載してある項目以外に、事業に関わるものがあれば全て記載してください。  
 ※ 領収書等、事業に関わる支払を証明する書類の写しを必ず添付してください。

平成30年度市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	自助具製作・普及による肢体不自由者・高齢者の自立促進活動の活性化		
団体名	八王子自助具工房フレンズ		
事業費	851,579円	補助金額	400,000円

事業の目的・内容	<p>目的 * 地域の肢体不自由者・高齢者の自立を促し、障がい者の日常生活を豊かにする。                  * 自助具の認知が著しく遅れている地域(八王子はもとより東京)の自助具普及に寄与する。                  * 物づくりの好きな市民がボランティア活動を通し、弱者救済の互助の精神を養うと共に、高齢者自身の活性化、認知予防に繋げる。                  * 国の障害者、高齢者の自立を促す政策にマッチしている。</p>
	<p>内容 1、自助具の製作 * 自助具を必要とする肢体不自由者・高齢者の相談に応じ、その方の障がい状態に適した自助具の製作を行い、経済的負担の少ない形で提供する。                  2、自助具の普及、啓蒙 (自助具の認知と共にボランティアでの製作活動の存在を広める。)                  * 展示会、市民福祉まつり等人の集まる所で、展示、実演説明、                  * 自助具製作体験講座の開講等、作業療法士(OT)への積極参加活動「使い手、専門職(OT)作り手」の協業促進                  * パンフレット、ホームページ、メディア等で普及に務める。</p>

事業の活動実績	<p>4月:製作場所をボランティアセンターから上恩方の木工レンタル工房に移転、都立八王子東特別支援学校で療育施設玩具製作、修理活動開始                  5月:八王子福祉祭り(富士森公園、エスフォルタアリーナ八王子)参加、都作業療法士会と講習会の打合わせ地域情報誌「はちとぴ」に活動掲載                  6月:八王子市民企画補助金、真如苑、八王子社協より補助金、助成金交付受ける                  7月:東京都作業療法士会会誌に「八王子自助具工房フレンズ」の紹介記事掲載される                  8月:ボランティア交流会へ参加、NPO 自助具の部屋(35年の関西活動拠点)に訪問懇談                  9月:南大沢市民センター祭りに参加、木工レンタル工房の団体メンバー向け機器講習会開催                  10月:国際福祉機器展(HCR)の展示説明応援、横山南、由井、大和田市民センター祭り及び東村山ボランティア祭りに参加。都作業療法士会北ブロックで自助具講習会開催                  11月:柚木中央、中野、北野市民センター、いちよう祭り参加、都立八王子盲学校依頼訪問 岐阜県関市へ各種爪切りの材料探しに帰阪時訪問、OTからの利用者宅訪問依頼始める                  12月:杏林大学自助具製作授業実施、東村山社協福祉の集い参加、テクノエイド協会の自助具普及啓蒙データベース作成委員会へ厚労省、大阪、京都、名古屋、東京委員として参加                  1月:ボランティア1名入会、タウンニュースに紹介記事掲載                  2月:アクティブ市民塾で自助具の話と実習講座開講、予想以上の集客                  3月:都社協の福祉人材育成センターの依頼で国立第二中学校で、自助具の話、展示実習 柚木東市民センター祭り、虹の会リハビリ講習会展示説明会、シーズ&amp;ニーズマッチング交会に展示参加                  各月とも、この他自助具の製作、依頼者訪問等あり多忙、添付活動報告も参照下さい。</p>
---------	---



中野市民センター祭り



アクティブ市民塾講習会製作風景

事業の成果・効果	<p>評価できる点</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 各種福祉展、地域祭り、ボランティア研究発表会での実演展示等が功を奏したのか、徐々に認知され、各方面から相談が来始めた。八王子市の70%程度の市民センター祭りカバー(約40人/日来ブース)。</li> <li>* 訪問リハビリをされているOTの方から、担当患者の状態を改善したいので、「こんな物が作れますか」等々の相談が来だした。現実には難問も結構ありますが。</li> <li>* 都内、近隣の関係者から、自助具の講演セミナー等の依頼も思わぬところから来出した。時間、距離的に許せる時は、可能な限り受けようしてきました。特にテクノエイド協会からの話は、厚労省の担当者も参加されているので、大きな前進と感じている。</li> <li>* 当初目論んだ、「使い手と作業療法士(OT)と作り手」の協業システム構築は予定通り進んできた。</li> <li>* 木工の騒音、粉塵等の為、木工レンタル工房の活用は周囲に気兼ねなく作業が出来る点は評価できる。</li> </ul> <p>危惧する点</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* H30年度の補助金、助成金、謝礼金等は潤沢であったが、今後も補助金等確保できるか一抹の不安は残る。</li> <li>* 展示会等PR活動に注力しすぎ、納期が伸び受注残が出てきた。2019年度は少し市民センター祭り等活動を抑える必要がある。製品売上は未達であるが、単価が高まってきた。</li> <li>* 木工レンタル工房の正式オープンが遅れたのと、PR活動不足で一般利用客が少なく、工房の技術、事務管理受託料は予定の1/10程度、レンタル料の低減は一般顧客を伸ばさなければ望めない。</li> <li>* 我武者羅に活動してきたが、メンバーの高齢化は否めなく、後継者確保は急務</li> </ul>
----------	--

自己評価	事業は申請どおり実施できた	1 できた <u>2 概ねできた</u> 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった ----- 主な理由(3、4と答えた場合のみ)
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	1 できた <u>2 概ねできた</u> 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった ----- 主な理由(3、4と答えた場合のみ)
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	1 ほとんど同じ <u>2 多少の変更があった</u> 3 大幅に変更している ----- 主な理由(2、3と答えた場合のみ) 木工レンタル工房の一般公開が遅れたため、利用者が少なく、レンタル料の補填にはならなかった。代わりに普及活動が功を奏し、依頼講習が増え予定外の講師料等の収入増と、他の助成金の確保ができレンタル料その他、団体としての活動費は潤沢に、繰越金も少し出た。
	その他、評価すべき点等	・従来ボランティアメンバーに交通費(電車、ガソリン代等)の負担が強いていたが、本年度は一部支払うことができた。 ・ボランティアメンバーが2人増え今後に期待できる。

※ 自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自己診断です。

今後の事業展開	<ul style="list-style-type: none"> <li>・都の作業療法士会(OT)との繋がりも出来、OTからの依頼が出てきたので、一層の普及に期待が持てる(少し難しい依頼が増えると思える)</li> <li>・自助具の「使い手と専門職(OT)と作り手」の協業も始まり、今後都士会南多摩ブロック(八王子市、近郊)での協業を一層進めていく。</li> <li>・「サイバーシルクロード八王子」の協力が得られるようになり、組織的な地域活動に各種のサポートが得られそうで期待している。</li> <li>・レンタル工房の利用客を増やすため、木工のみならず金属加工も可能にし、他工房との差別化を図り、レンタル客を増やす活動をして行く。(機器は代表の私物を寄贈予定)</li> <li>・残りの市民センター祭り(川口、加住、石川、子安 台町、浅川の4ヶ所程度)</li> </ul>
---------	--

市民企画事業収支決算書

事業の名称		自助具製作・普及による肢体不自由者・高齢者の自立促進活動の活性化	
団体名		八王子自助具工房フレンズ	
項目	内容・内訳		決算額(円)
<b>収入の部</b>			
1	市民企画事業補助金 (今回使用額)	市民企画補助金	400,000
2	その他助成金収入	真如苑多摩地区市民事業助成金	250,000
3	事業による収入	自助具売上費	103,073
4	団体運営費からの繰入金	繰入金(18,663円)、繰り戻し金(▲7,157円)	11,506
5	講習会(自助具製作)	国際福祉機器展説明員6人日	50,000
6	会費	¥500/月x62人月	31,000
7	管理運営代行費	6人日	6,000
合 計			851,579
<b>支出の部</b>			
1	消耗品費	合鍵¥929、ゴム印¥2550、スタンプ台¥821	5,621
2	印刷製本費	パンフレット 2000部	31,000
3	謝礼・報酬		
4	会場借上料・使用料	木工レンタル工房使用料	526,200
5	交通費	交通機関(電車、バス、モノレール) 別添明細書のとおり	42,300
6	通信費	宅急便、ゆうパック等	1,818
7	製作材料費	自助具製作材料費	112,340
8	機材導入費	3dプリンター、付属品一式¥126900	132,300
10			
合 計			851,579

※ あらかじめ記載してある項目以外に、事業に関わるものがあれば全て記載してください。  
 ※ 領収書等、事業に関わる支払を証明する書類の写しを必ず添付してください。



## 平成30年度市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	みんなのハロウィン (街を知り商店と繋がれる周遊型イベント)		
団体名	みんなのハロウィン実行委員会		
事業費	2,133,438円	補助金額	1,000,000円

事業の目的・内容	目的
	内容

子育て中の家族が街の活動や街で活動をしているファミリー層と知り合い、実際に地元の商店に足を運んだりお互いの顔を知り地域で活動しやすくなったり、声を掛け合える関係性をつくることで、地域のコミュニティを形成し、子どもたちの社会マナー教育や防犯、災害時の互助体制につなげることが出来る。また商店に今までにない顧客層が増えるきっかけ作りをし、新規顧客の開拓にも貢献することができる。

2日間にわたり、色々な街の顔を知れるイベント。1日目は八王子駅南口の駅前に子育てを応援する人々、企業、商店、行政、大学、色々な所と繋がりたいママやパパが集結。その場で色々な街を知り個々の店舗に「行ってみたい!」というきっかけ作りをし、2日目は八王子駅北口、南口大型商店も含む商店約80店舗が参加店となり、ハロウィンのお菓子を配るというきっかけで実際に商店行くというきっかけ作りをする。

事業の活動実績	10月27日(土)
	10月28日(日)

会場：JR八王子駅南口 1階東側広場、2階とちの木デッキ・北館9階レオガールズ

内容：・物販、ワークショップ、企業、おもちゃのプレイスペースなど、親子で体験・楽しめるブース出展。

- ・外骨格ロボット「スケルトニクス」のパフォーマンス、操作体験。
- ・ヒップホップダンス、チアダンス、ダブルダッチ、「ぼくらの八王子を踊ろう」など、子どもたちの演技プログラム、体験を中心にしたステージ。
- ・東京造形大学 春日明夫研究室による子ども向けおもちゃのワークショップ。

会場：JR八王子北口 駅前銀座通り

内容：・物販、ワークショップ、おもちゃのプレイスペースなど、親子で体験・楽しめるブース出展。

- ・外骨格ロボット「スケルトニクス」のパフォーマンス、操作体験。



事業の成果・効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・親子で楽しむワークショップや出展者を身近に感じられるブース出展を通じて、多くの子育てファミリーが、子育てを応援する人々や商店、企業を知ることができた。(27日)</li> <li>・イベントを通じて街を周遊することで、地元商店街を身近に感じてもらうことができた。(28日)</li> <li>・ブロック遊びやヨーヨー、けん玉など、ゆっくり遊べるプレイエリアを設置。 滞在型のコンテンツとして、幅広い年齢の子供たちがじっくり楽しんでいた(27日・28日)</li> </ul> <p>・来場者数 27日：のべ約15,000人 28日：23,000人(はちおうじハロウィン全体調べ)</p> <p>【来場者アンケートより】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・八王子が盛り上がり嬉しかった。</li> <li>・色んなブースがあって、赤ちゃん連れでも楽しめました。</li> </ul> <p>【出展者アンケートより】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地元八王子を盛り上げるというそれぞれの出展者様やお客様の雰囲気にもいつもパワーをいただきます。</li> <li>・多くに子どもたちに体験してもらえた。</li> </ul>
----------	---

自己評価	事業は申請どおり実施できた	<p>1 できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった</p> <p>主な理由(3、4と答えた場合のみ)</p>
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	<p>1 できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった</p> <p>主な理由(3、4と答えた場合のみ)</p>
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	<p>1 ほとんど同じ 2 多少の変更があった 3 大幅に変更している</p> <p>主な理由(2、3と答えた場合のみ)</p> <p>イベント2日分告知のためにチラシの仕様変更を行ったため印刷代が、またスケルトニクス2日間開催のために運営費が増額した。消耗品費・レンタル代は経費の削減につとめた。実行委員ブース・スケルトニクスを2日間開催できたことにより経費の補填ができた。</p>
	その他、評価すべき点等	

※ 自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自己診断です。

今後の事業展開	<p>子育てを応援する人々、企業、商店、行政、大学を子育てファミリーとつなげ、声を掛け合える関係性や地域のコミュニティを形成することを目的として、事業は継続していきたい。また、より多くの地元企業・商店の出展を増やすため、出展のためのPR・告知を積極的に進めたい。</p> <p>また、継続してイベントとしてマンネリ化しないように、事業を進めていきたい。</p>
---------	--

市民企画事業収支決算書

事業の名称		みんなのハロウィン（街を知り商店と繋がる周遊型イベント）、	
団体名		みんなのハロウィン実行委員会、	
項	目	内容・内訳	決算額（円）
<b>収入の部</b>			
1	市民企画事業補助金 （今回使用額）		1,000,000
2	その他助成金収入		
3	事業による収入	<ul style="list-style-type: none"> <li>・協賛金671,000円（300,000円×1、150,000円×1、35,000円×1、20,000円×1、10,000円×11、5,000円×4、2,000円（出展者協賛金）×18）</li> <li>・出展料336,000円（一般@6,000円×8、企業@10,000円×28、ステージ@4,000円×2）</li> <li>・当日売上・実行委員ブース48,600円（@300円×162）</li> <li>・当日売上・スケルトニクス62,700円（@300円×209）</li> </ul>	1,118,300
4			
5	レンタル料出展者負担	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テーブル @1,080円×30台=32,400円</li> <li>・椅子 @320円×40脚=12,800円</li> </ul>	45,200
合 計			2,163,500
<b>支出の部</b>			
1	消耗品費	・運営事務用品費	25,747
2	印刷製本費	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ビジュアルデザイン作成費・二次利用費 150,000円（デザイン100,000円・二次利用50,000円）</li> <li>・チラシ・ポスター・当日リーフレットデザイン費200,000円</li> <li>・全ての保育園・幼稚園・小学校・子育てひろば等に配布するチラシ65,000枚（192,000円）</li> <li>・当日来場者に配布するパンフレット3,500枚（31,500円）</li> </ul>	573,500
3	謝礼・報酬	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ステージ運営@10,000円×1名</li> <li>・ワークショップ運営@15,000円×1名</li> <li>・当日スタッフ@5,000円×25名×2日間</li> <li>・スケルトニクス パフォーマンス体験運営費756,000円</li> </ul>	1,031,000
4	会場借上料・使用料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事前打合せ会場費@2,500円×18回</li> <li>・南口東側広場使用料5,000円</li> <li>・機材費（マイク、スピーカー、照明、音響一式）50,000円</li> </ul>	100,000
5	交通費		
6	通信費		
7	ホームページ管理委託費	・ホームページ製作、更新費（月1回～）、サーバー代	157,973
8	会場設営費	<ul style="list-style-type: none"> <li>・レンタル料243,540円（テント58,320円・テーブル・椅子51,840円・搬出搬入費133,380円）</li> <li>・会場内案内板製作費1,678円</li> </ul>	245,218
合 計			2,133,438

※ あらかじめ記載してある項目以外に、事業に関わるものがあれば全て記載してください。  
 ※ 領収書等、事業に関わる支払を証明する書類の写しを必ず添付してください。

平成30年度市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	高齢者のための八王子ニュータウン地域住民主体のノルディックウォーキング介護予防事業		
団体名	特定非営利活動法人ヒューマンサポートネット		
事業費	751,166円	補助金額	346,000円

事業の目的・内容	<p>目的</p> <p>足腰が痛い等の引きこもりや認知機能低下傾向の高齢者がノルディックウォーキング教室に参加することにより元気に社会に復帰する事例をたくさん作る。</p>
	<p>内容</p> <p>①ノルディックウォーキングを活用した介護予防活動の事例研究により、介護予防に有効なノルディックウォーキング教室講座および指導員教育プログラムを開発する。 ②高齢者で指導者としての適性を持った人をノルディックウォーキング指導員として育成、新たな高齢トレーナーとして、地域ボランティアとして活躍してもらう。</p>

事業の活動実績	<b>ノルディック・ウォーキング拠点拡大</b>			<b>平成31年3月31日現在</b>		
		川原宿	北野台	狭間住宅		
	体験会	2回 (9月)	2回 (10月)	1回 (3月16日)		
	体験会参加者数	1回目：8名 2回目：7名	1回目：8名 2回目：8名	1回目：21名		
	現在の会員数	26名	39名	/		
	活動回数	12回	13回	/		
	延べ参加人数	141名	220名	/		
	<p>狭間住宅の体験会はサロン活動の一環として実施、実技は笹淵、石原、及川の3名で実施、大好評でした。今後の定例化の活動に向けて3名の方が指導員資格の取得予定。</p>					



事業の成果・効果	<b>1. ノルディック・ウオーキング教室講座の開発</b>			
	準備体操→体幹トレーニング→ウオーキング→整理体操の一連の流れが標準化された。安全面については「安全管理マニュアル」を作成、片足立ちによるバランスチェック項目も追加した。一連の流れの標準化によりコンパクトなプログラムになった。			
	<b>2. 事例研究：43人(症状別)</b>			
		症状	人数	対応策
	1	脊柱管狭窄症、ヘルニア、すべり症、筋肉痛	11	①ロコモ体操 ②湾曲ポール歩行トレーニング
	2	変形性膝関節症、ひざ痛	10	①湾曲ポール歩行 ②重心移動トレーニング(椅子から立上がり)
	3	血糖値、コレステロール、内臓脂肪が高い	5	①メタボ体操 ②有酸素歩行トレーニング ③活動量計利用
	4	下肢動脈硬化、ふくらはぎ痛	4	①足裏・ふくらはぎ体操 ②湾曲ポール歩行
5	側弯症、股関節症	3	①湾曲ポール歩行	
7	その他	9	その他	
<b>3. 矢野先生、福崎先生講演会</b>				
210名が参加、クリエイトホール事務の話ではここ数年来では記録とのことでした。講演の数日前に満席になり、予約をお断りした。講演会のおかげで新規に参加される方が増えている、また狭間住宅の体験会参加者が多かったのも講演会が貢献している。				

自己評価	事業は申請どおり実施できた	1 できた    2 概ねできた    3 あまりできなかった    4 ほとんどできなかった ----- 主な理由(3、4と答えた場合のみ)
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	1 できた    2 概ねできた    3 あまりできなかった    4 ほとんどできなかった ----- 主な理由(3、4と答えた場合のみ)
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	1 ほとんど同じ    2 多少の変更があった    3 大幅に変更している ----- 主な理由(2、3と答えた場合のみ) ① 地域の指導員育成が遅れたため外部から講師を招聘、結果としてコストが上昇した。 ② 当初の計画では参加者から会費を高齢者から徴収する予定でしたが、準備不足のため平成31年度から会費を徴収予定。
	その他、評価すべき点等	本事業を推進するために医師、理学療法士、看護師、地域包括センター長、ノルディックウオーキング指導員によるプロジェクト会議を編成、計6回開催、多職種連携枠組みを構築することが出来た。

※ 自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自己診断です。

今後の事業展開	<p>1. 拠点の拡大 ノルディックウオーキングによる介護予防活動を普及するために拠点拡大および指導員の育成を行う。</p> <p>2. 水中ノルディックウオーキングの普及 膝関節症、股関節症、脊柱管狭窄症、側弯症などの方たちのリハビリとしての水中ノルディックウオーキングを推進したい。</p>
---------	---

## 市民企画事業収支決算書

事業の名称		高齢者のための八王子ニュータウン地域住民主体のノルディックウォーキング介護予防事業	
団体名		特定非営利活動法人ヒューマンサポートネット	
項目	内容・内訳		決算額(円)
<b>収入の部</b>			
1	市民企画事業補助金 (今回使用額)		346,000
2			
3	事業による収入 ( )		
4	団体運営費からの繰入金	繰入金(414,000円)、繰入金戻し(△8,834円)	405,166
5			
6			
合 計			751,166
<b>支出の部</b>			
1	消耗品費	名札 @421円×60個=25,260円	25,260
2	印刷製本費		
3	謝礼・報酬	ノルディックウォーキング講師謝礼 @5,000円×69回=345,000円 プロジェクト会議(全6回)出席謝礼 @7,000円×19回=133,000円(4人分)、@2,000円×18回=36,000円(3人分)	514,000
4	会場借上料・使用料		
5	交通費	別添明細書のとおり (※明細を添付してください)	
6	通信費		
7	備品	ノルディックウォーキングポール 30本、ストップウォッチ 2個	211,906
8			
9			
10			
合 計			751,166

※ あらかじめ記載してある項目以外に、事業に関わるものがあれば全て記載してください。

※ 領収書等、事業に関わる支払を証明する書類の写しを必ず添付してください。

平成30年度市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	地域の自然資源を活かした里山体験教室事業		
団体名	特定非営利活動法人小津倶楽部		
事業費	1,002,447円	補助金額	500,000円

事業の目的・内容	<p>目的</p> <p>【地域の文化的資源（里山資源）の掘り起こしと活用】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域生活に密着した、明示的に表出していない地域の生活文化資源を掘り起こし、新たな地域資源として活用した「コミュニティビジネス」としての可能性について検討する。</li> </ul> <p>【都市部と中山間地域における人的交流の促進と新たなネットワークの構築】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本市の都市的な特徴である都市部と中山間地域を活かし、それぞれの住民間で、SNS等を活用した新たな人的ネットワークを構築するとともに、本市にふさわしいライフスタイルを探る。</li> </ul> <p>【多様な主体のまちづくりへの参画による地域活力の向上】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人口減少と高齢化が進行する市街化調整区域の集落において、地域外の関心のある人々や専門家などの多様な主体が参画したまちづくりの実現により、地域活力の向上を図る。</li> </ul>
	<p>内容</p> <p>【事業概要】</p> <p>恩方地域に残っている豊かな四季折々の地域資源を活用した「里山体験型ワークショップ（以下WS）」を開催し、地域課題である新たな担い手の人材発掘と地域文化の継承を図るとともに、地域資源を活かした新たな観光コンテンツの創出し、「地域で稼ぐ力」の可能性を探る。</p> <p>【開催頻度】 季節ごとに「食」「里」「畑」「山」のテーマを設定し、年4回程度の実施を想定。</p> <p>【講師】 小津町住民や地域外の専門家など、地域資源に対する造詣の深い人を充てる。</p> <p>【対象者】 市内在住の公募市民を基本とし、WSの通年参加者とテーマ別の個別参加者を設定。</p>

事業の活動実績	【WS実施内容】
	テーマ：「食（美）のWS」 日時： 7/28 内容：ハーブ教室 参加者数：25人 日時：10/20 内容：ヨガ&ハーブ教室 参加者数：24人
	テーマ：「畑のWS」 日時：11/18 内容：野菜収穫＋ピザ焼き体験 参加者数：約100人
	テーマ：「森のWS」 日時： 2/9 内容：シイタケ <sup>ヒノキ</sup> 樽木づくり体験 参加者数：45人
	テーマ：「里のWS」 日時： 3/31 内容：うどん作りづくり体験 参加者数：67人



H31.2.9 シイタケ樽木づくり体験WS



H31.3.31 うどん作り体験WS

事業の成果・効果	<p>○地域側（主催者側）の効果</p> <p>【地域まちづくりの促進】 延べ200人以上の関係人口を確保し、新たなまちづくり協力者を確保した。</p> <p>【地域文化の継承】 シイタケ栽培やうどん作りなど、暗黙知として埋没した地域文化が明示化され、新たな担い手に継承された。</p> <p>【自立的なまちづくりの可能性が向上】 「地域で稼ぐ」手法が試行され、コミュニティビジネスとしての可能性が確認された。</p> <p>○市民側（参加者側）の効果</p> <p>【里山生活と関連した市独自のライフスタイルの実現】 自然資源を活用した生活スキルの体験により、都市での生活が豊かになるとともに、「都市」と「農村」をつなぐ人的ネットワークが形成され、シビックプライドの醸成に寄与した。</p> <p>○行政側の効果</p> <p>【事業効果の向上】 一連の取り組みが市の事業に関連するものとして、「沿道集落のまちづくり」並びに「シティプロモーション」が周知され、事業効果が向上した。</p>
----------	---

自己評価	事業は申請どおり実施できた	1 できた <input checked="" type="radio"/> 2 概ねできた <input type="radio"/> 3 あまりできなかった <input type="radio"/> 4 ほとんどできなかった <input type="radio"/> ----- 主な理由（3、4と答えた場合のみ）
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	1 できた <input checked="" type="radio"/> 2 概ねできた <input type="radio"/> 3 あまりできなかった <input type="radio"/> 4 ほとんどできなかった <input type="radio"/> ----- 主な理由（3、4と答えた場合のみ）
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	1 ほとんど同じ <input type="radio"/> 2 多少の変更があった <input checked="" type="radio"/> 3 大幅に変更している <input type="radio"/> ----- 主な理由（2、3と答えた場合のみ） 夏季に地域の河川を活かした魚つかみ取り体験WSを企画したが、台風の来襲に伴い中止とし、企画を変更したため。
	その他、評価すべき点等	当初想定した参加者人数（延べ100人）に対し、260人以上の参加者人数となり、改めて沿道集落地区におけるコミュニティビジネスの可能性を確認できた。

※ 自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自己診断です。

今後の事業展開	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本事業で整理したWSの実施手法及び備品機材等を活用し、同事業をNPOの自主事業として継続的に取り組み、事業活動を通じて、地域文化の継承と新たな担い手の確保、人的ネットワークの構築を図る。</li> <li>・事業収益については、地域の空き家や耕作放棄地再生に再投資し、地域課題の解決と地域活力の向上に継続的に取り組める体制を構築する。</li> </ul>
---------	--



## 市民企画事業収支決算書

事業の名称	地域の自然資源を活かした里山体験教室事業	
団体名	特定非営利活動法人小津倶楽部	
項目	内容・内訳	決算額(円)
<b>収入の部</b>		
1	市民企画事業補助金 (今回使用額)	500,000
2	その他助成金収入	
3	事業による収入 ( )	WS参加者からの会費収入等 451,400
4	団体運営費からの繰入金	NPOの会計から自己資金を繰り入れる 51,047
5		
6		
合 計		1,002,447
<b>支出の部</b>		
1	消耗品費	軍手、紙コップ、筆記具等 260,485
2	印刷製本費	ワークショップ案内パンフレット印刷代等 65,076
3	謝礼・報酬	講師謝礼等 172,000
4	会場借上料・使用料	小津町会館使用料等 38,880
5	交通費	0
6	通信費	0
7	保険料	活動に対する損害保険料等 8,832
8	備品費	安全具(ヘルメット等)、ゴーグル、調理器具、農機具等 457,174
9		
10		
合 計		1,002,447

※ あらかじめ記載してある項目以外に、事業に関わるものがあれば全て記載してください。

※ 領収書等、事業に関わる支払を証明する書類の写しを必ず添付してください。

平成30年度市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	八王子市 犬猫殺処分ゼロミッション 保護活動事業		
団体名	「津久井・橋本・八王子」犬猫の会		
事業費	2,432,315 円	補助金額	800,000 円

事業の目的・内容	<p>目的</p> <p>無責任な飼い主に遺棄された犬猫の殺処分をゼロにすることを目的とします。</p> <p>また、飼育し続けることができなくなってしまった方からの相談に乗り、一時預かりなど、サポートをしながら新たな飼い主探しのお手伝いを行うとともに、地域の方と連携をして野良猫の保護・譲渡活動を積極的に行い、野良猫の数を減らしていきます。</p> <p>さらに、ペットショップで扱われている犬猫の実態についての啓発活動を行い、ドイツやスウェーデンのように犬や猫への扱い方を人にも犬や猫にも優しい形に変えていくことを周知していきます。</p>
	<p>内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保護事業：市民からの相談により犬猫を保護し新たな飼い主が見つかるまで適切な医療や飼養を行う また、保健所からの犬の預かりを再開</li> <li>・譲渡事業：新たな飼い主につなげるための譲渡会の定期開催（南大沢、高尾壺園、大正舎介護くらぶ）</li> <li>・啓発活動事業：ペットショップで扱われる犬や猫の実態を知ってもらうための啓発活動を行う</li> </ul>

事業の活動実績	<p>猫；保護数 36 匹、譲渡数 31 匹</p> <p>犬；保護数 8 匹、譲渡数 7 匹</p>
	<p>南大沢里親会場 26 回開催    2018/ 4 月 1、21 日/ 5 月 5、19 日/ 6 月 2、16 日 7 月 7、21 日/ 8 月 4、18 日/ 9 月 8、29 日/ 10 月 6、20 日/ 11 月 3 月、23 日 12 月 1、15 日</p> <p>2019/ 1 月 5、19 日/ 2 月 2、16 日/ 3 月 2、16 日</p>
	<p>高尾壺園里親会 14 回開催    2018/ 4 月 28 日 / 5 月 26 日/ 7 月 28 日/ 8 月 25 日 9 月 22、23/ 10 月 27 日/ 11 月 24 日/ 12 月 22 日</p> <p>2019/ 1 月 26 日/ 2 月 23 日/ 3 月 21、23 日</p>



様式9 (2枚目)

事業の成果・効果	<p>今年とは昨年度とは保護の内容を少し変えましたので、全体的な保護頭数と譲渡数が減少しました。</p> <p>昨年度より年若い犬猫、負傷猫の引き取り数が増えたため医療費と労力及び時間を費やしたためです。</p> <p>昨年度と同様に譲渡数が保護数に、追いついていませんが成猫、老犬猫の譲渡には時間がかかるため継続して里親探しをしております。</p> <p>今年から新たに室内での里親会のできる大正舎介護くらぶ里親会場が加わりました。認知されるのにもう少し時間はかかりますが、暑い夏場と寒さの厳しい冬場にはとても助かります。</p> <p>もう一つ新たに保護犬猫の紹介ページが新しくなりました。成猫の成約率アップにつながりました。</p> <p>八王子市の犬の殺処分はほぼゼロ（現在の殺処分数には自然死も含まれるため）で昨年度と変わらずです。猫の殺処分数も年々減少しておりますが、負傷猫を保健所と連携して保護する取り組みを始めました。</p> <p>行政、他団体とも情報交換、連携等を取り、殺処分ゼロを目指します。</p>
----------	---

自己評価	事業は申請どおり実施できた	<p>1 できた    2 概ねできた    <input checked="" type="checkbox"/> 3 あまりできなかった    4 ほとんどできなかった</p> <p>-----</p> <p>主な理由 (3、4と答えた場合のみ)</p> <p>保護の内容が変わったため。</p>
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	<p>1 できた    <input checked="" type="checkbox"/> 2 概ねできた    3 あまりできなかった    4 ほとんどできなかった</p> <p>-----</p> <p>主な理由 (3、4と答えた場合のみ)</p>
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	<p>1 ほとんど同じ    <input checked="" type="checkbox"/> 2 多少の変更があった    3 大幅に変更している</p> <p>-----</p> <p>主な理由</p> <p>主に医療費に資金を使ったため。</p>
	その他、評価すべき点等	<p>ボランティアの方々の今までの活動、啓蒙により八王子市の犬猫殺処分ゼロの道筋が見えてきました。継続は大きな力だと感じます。</p> <p>保健所と連携して負傷猫を保護する取り組みを始めました。</p>

※ 自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自已診断です。

今後の事業展開	<p>継続した事業を展開するため、バザーの開催を高尾霊園と南大沢ではじめました。</p> <p>老犬猫と負傷猫のためにクラウドファンディングを予定しております。</p> <p>八王子市は犬猫の保護施設を持っていません。全てボランティアの各家で一時保護をし、里親探しを各ボランティアが引き受けております。今後は行政の基本的には殺処分ゼロの保護施設の建設を要望します。それにはボランティアの保護・譲渡の知識が必須です。行政とボランティアが協力して殺処分ゼロの施設を運営していければ良いと考えております。</p>
---------	---

## 市民企画事業補助金交付事業収支決算書

事業の名称		八王子市 犬猫殺処分ゼロミッション 保護活動事業	
団体名		「津久井・橋本・八王子」犬猫の会	
項目	内容・内訳		決算額(円)
<b>収入の部</b>			
1	市民企画事業補助金 (今回使用額)		800,000
2	その他助成金収入		
3	事業による収入	譲渡料 仔猫 15,000円×8匹=120,000円 成猫 30,000円×23匹=690,000円	810,000
4	団体運営費からの繰入金		320,000
5	募金箱		472,315
6	会費収入		30,000
合 計			2,432,315
<b>支出の部</b>			
1	消耗品費	フード、ペット用品	768,286
2	印刷製本費	「津久井・橋本・八王子」犬猫の会通信 印刷代	6,480
3	会場等使用料	南大沢里親会会場使用料 @5,000円×1.08×19回= 102,600 振込手数料 @216×10=2,160	104,760
4	医療費・検査代	保護犬10匹、保護猫49匹	1,534,624
5	備品等	折りたたみケージ、のぼりセット一式、ボード・ボードマー カー	18,165
6			
7			
8			
9			
10			
合 計			2,432,315

※ あらかじめ記載してある項目以外に、事業に関わるものがあれば全て記載してください。

※ 領収書等、事業に関わる支払を証明する書類の写しを必ず添付してください。

平成30年度市民企画事業補助金 交付事業成果報告

事業名	説経節研究 十代目薩摩若太夫CD集の刊行		
団体名	説経節の会		
事業費	760,091円	補助金額	250,000円

事業の目的・内容	<p>目的</p> <p>「説経節の会」は、昭和61年に十代目薩摩若太夫の芸の継承を目的に結成され、公演活動、説経節の研究本の刊行等の活動実績を積み上げてきた。本CD集の刊行目的は</p> <p>① 十代目薩摩若太夫として活躍していた同人の説経節の貴重な音源を発掘収集し、良質のものを選別してCD（解説書付き）に収録し、記録として後世に残す。</p> <p>② 作成した上記CD集を説経節の会会員の今後の研究・技芸の向上に資する。</p> <p>③ 支援者、研究者、研究機関、市民などに頒布し、説経節に対する啓蒙、理解に資する。</p>
	<p>内容</p> <p>① 十代目薩摩若太夫の残した音源約50節を再生聴取し、その中から内容の良好なもの計16曲を選別した。</p> <p>② 上記の各音源について、それぞれの床本（台本）を読み解き、「解説書」にまとめた。</p> <p>③ 完成したCD計5ケース及び解説書を1組として、紙製のブックケースに収納した。 (計300部作製)</p> <p>内訳</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・CD 300枚</li> <li>・解説書 300冊</li> <li>・ブックケース 300個</li> </ul>

事業の活動実績	30・6・15	CD集の刊行決定	10・29	三庄太夫一代同上
	6・11	作業スケジュール検討	11・12	三庄太夫一代同上
	6・26	音源・床本の選別・読み解き	11・25	信太妻。熊谷館騒動同上
	7・6	小栗判官の音源・床本読み解き	12・2	CD集・外箱の仕様検討
	7・15	小栗判官の音源・床本読み解き	12・23	解説書の仕様等の検討
	7・23	義経奥州落ち同上	31.1.29	CD集の仕様等の検討
	8・13	箱根山明石騒動等同上	2・17	解説書の読合せ校正
	8・20	日高川入相花王同上	2, 23	作業等の総括補正
	9・1	日高川入相花王同上	3・6	刊行記念会の検討
	9・17	関取千両幟同上	3・9	CD集の箱詰め作業
	10・8	三庄太夫一代同上	3・11	CD集完成報告（協働推進課）



様式9 (2枚目)

事業の成果・効果	<p>平成31年3月9日に「説経節研究 音曲編 十代目薩摩若太夫CD集 (300部)」が刊行となった。</p> <p>頒布・活用計画に基づき</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 説経節の会の活動会員 (研究部・技芸部員 計20名) に頒布し、直ちに研究、技芸の稽古に供した。</li> <li>○ 説経節の会の活動に支援協力を頂いている方等に贈呈。</li> <li>○ 説経節に関心がある方等に対する頒布。 (贈呈先は、下記のとおり) 「一次贈呈先 (抜粋)」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・八王子市文化財課・八王子市郷土資料館・八王子市中央図書館 ・全国郷土芸能協会・東京国立博物館・都立中央図書館・都立多摩図書館・綾瀬町教育委員会・国立国会図書館収納部官庁納本課・東京都文化財課・八王子車人形西川古柳座 他</li> </ul> </li> <li>○ 今後の頒布活動のため、申込書 (チラシ) を2,000枚作成した。</li> </ul> <p>説経節に関する音源の掘り起こしとCD化は、これまで行われたことがないことから、薩摩派説経節の演目を耳で聴ける本CD集 (詞章付き) の刊行は、説経節に対する啓蒙、伝承、愛好者等の獲得に大きく寄与することが期待できる。</p>
----------	--

自己評価	事業は申請どおり実施できた	<p>1 できた    ② 概ねできた    3 あまりできなかった    4 ほとんどできなかった</p> <p>-----</p> <p>主な理由 (3、4と答えた場合のみ)</p>
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	<p>1 できた    ② 概ねできた    3 あまりできなかった    4 ほとんどできなかった</p> <p>-----</p> <p>主な理由 (3、4と答えた場合のみ)</p>
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	<p>1 ほとんど同じ    ② 多少の変更があった    3 大幅に変更している</p> <p>-----</p> <p>主な理由 (2、3と答えた場合のみ)</p> <p>CD集の完成が年度末近くとなり、刊行に伴う記念のイベントを今年度中に開催出来なかったため、イベント開催費用の執行が出来なかった。</p>
	その他、評価すべき点等	<p>前述のとおり、十代目薩摩太夫の音源については多くが散逸していたが、同時期に三味線方太夫として活躍された故梅田和子氏のコレクション (テープ) として現存しているものもあることが判明。このなかで良質なものをCD化できたことの意義と利用価値は極めて大きいものがあると思われる。</p> <p>なお、CD化にご協力頂いた梅田氏のご遺族に感謝申し上げたい。</p>

※ 自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自己診断です。

今後の事業展開	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 物語編、歴史編に続き、今般音曲編を刊行したことにより、「説経節」を直接耳で聴ける形で会員の知識、技能の向上に資することが出来た。</li> <li>② 今後は古典的題材の説経節正本の翻刻に取り組みたい。</li> </ul>
---------	---

## 市民企画事業収支決算書

事業の名称		説経節研究 十代目薩摩若太夫CD集の刊行	
団体名		説経節の会	
項目	内容・内訳		決算額(円)
<b>収入の部</b>			
1	市民企画事業補助金 (今回使用額)		¥250,000
2	その他助成金収入		
3	事業による収入 ( )		
4	団体運営費からの繰入金		¥510,091
5			
6			
合 計			¥760,091
<b>支出の部</b>			
1	消耗品費	用紙代(2,872円)、CD代(2,030円)、プリンターインク代(23,301円)、コピー代(80円)、セロファン紙代(1,338円)、テープ代(44円)	¥29,665
2	印刷製本費	CD製作代(342,000円)、CDブックケース代(177,768円)、イベント用チラシ代(5,410円)、解説書製作代(144,720円)	¥669,898
3	謝礼・報酬		¥15,000
4	会場借上料・使用料	6月11日クリエイト 施設使用料 他	¥22,600
5	交通費	別添明細書のとおり (※明細を添付してください)	
6	通信費	レターバックプラス代(2,400円)、切手代(17,880円)、証紙切手代(380円)	¥20,660
7	振込手数料	振込手数料(2,268円)	¥2,268
8			
9			
10			
合 計			¥760,091

※ あらかじめ記載してある項目以外に、事業に関わるものがあれば全て記載してください。

※ 領収書等、事業に関わる支払を証明する書類の写しを必ず添付してください。

平成30年度市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	HACHIDORI ~HACHIOJI ROCK DREAM		
団体名	HACHIDORI フェスティバル実行委員会		
事業費	1,973,955 円	補助金額	640,000 円

事業の目的・内容	<p>目的</p> <p>現在、八王子における、他市にはない特出すべき特徴は、全国を対象に活躍し大型ロックフェスティバルの参加する有名ロックバンドを数多く輩出している事象である。また、全国で活躍するバンドの多くは、バンド結成地である八王子に愛着を持ち、八王子のライブハウスをホームとしていること。この事象の理由として、八王子の特徴である学園都市「八王子」約11万人が集まる学園都市パワーから音楽を志す若者が多いことが考えられる。この全国内においても貴重な風土を活用し、この資源活用を広域に広め、八王子がロックバンドを目指す若者たちの聖地となり、新たな来訪者が八王子を訪れること、また、移住することなどにより、多大な経済効果を生み出す可能性の機会となることを目的にしている。</p>
	<p>内容</p> <p>市内ライブハウスとその周辺施設を複数利用し、公演の同時開催と、周辺飲食店の協賛でクーポン冊子を配布することにより八王子のまちを回遊させるサーキット形式のロックフェスティバルを開催する。</p>

事業の活動実績	<p>【HACHIDORI~HACHIOJI RACK DREAM】</p> <p>日時：平成31年3月3日（日）</p> <p>会場：八王子 Match Vox ほか 18 会場</p> <p>出演者：バンド 130 組・アイドル 20 組</p> <p>参加者：2,500 名</p>
	<p>市内 19 会場にて 150 組のライブ公演が行われるロックサーキットイベント。</p> <p>参加者に配布した冊子で飲食店舗の割引サービス等を行い、まちおこしを目的とする。</p> <p>小田原市が同様の音楽まちおこしイベントを実施しているので、連携を行い、姉妹都市の観光パンフレット配布も行った。</p> <p>例年、室内でのイベントなので商店街・市民の皆様への周知が行き届かなく、商店との一体化が課題でしたが、本年はユーロードにPRブースを設け、八王子市PR特使や八王子出身のバンドと来場者や市民の皆様と触れ合う場を設けた。</p>





様式9 (2枚目)

事業の成果・効果	<p>参加者は街中のライブハウスをめぐりさまざまな音楽を体験する。また、バンド公演は 17 時過ぎの時間帯には終了、ライブ参加のあとは、ロック音楽を好みとする方だけでなく、幅広い世代の方々参加と観覧を図り、市内外を問わないまちへ集客とまちの地域ブランドイメージを多くの方々に植え付けた。</p> <p>参加者・出演者含む 2,500 名</p>
----------	--

自己評価	事業は申請どおり実施できた	<p>1 できた ②概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった</p> <p>主な理由 (3、4と答えた場合のみ)</p>
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	<p>1 できた ②概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった</p> <p>主な理由 (3、4と答えた場合のみ)</p>
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	<p>1 ほとんど同じ 2 多少の変更があった ③大幅に変更している</p> <p>主な理由 (2、3と答えた場合のみ)</p> <p>年度末の3月に実施するものであり、収入・支出の動きが平成30年度内に完了しないことから、支出する事業費は減額し、収入する前売券のチケット代は翌年度に振込予定となり、団体が立て替えることになったことから収入の内訳が変更となった。</p>
	その他、評価すべき点等	<p>京王八王子駅周辺・八王子駅西側の会場を往来し、例年よりも広域での参加者が街中をめぐり、横山町公園での無料ステージでも中心市街地活性化・市民へのアピールも出来た。</p> <p>音響や人だかりでの苦情等が課題であったが、商店街の協力・交通整理要員の配置により、トラブルもなく無事に終了することができた。</p>

※ 自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自己診断です。

今後の事業展開	<p>中心市街地の活性化を課題と考え、イベントを実施しているが、補助終了後の自立化した予算で、継続的に実施することで、イベントの認知度とともにまちや店の認知度を高め、八王子の魅力を発信し続けることを目的として、事業展開を図る。</p> <p>また、継続イベントとしてマンネリ化しないよう、事業展開していきたい。</p>
---------	---

市民企画事業補助金交付事業収支決算書

事業の名称		HACHIDORI ~HACHIOJI ROCK DREAM	
団体名		HACHIDORIフェスティバル実行委員会	
項目	内容・内訳		決算額(円)
<b>収入の部</b>			
1	市民企画事業補助金 (今回使用額)		640,000
2	その他助成金収入		
3	事業による収入	チケット販売収入	548,000
4	団体運営費からの繰入金		428,955
5	協賛金		357,000
6			
合 計			1,973,955
<b>支出の部</b>			
1	消耗品費	コピー用紙・インク・テープ類等	23,214
2	印刷製本費	ポスター・チラシ・冊子作成	151,924
3	謝礼・報酬	出演者報酬	716,161
4	会場等使用料	公演会場(ライブハウス、飲食店等)使用料	899,771
5	HP等運営経費	HP(事前予約を含む)・ツイッター・FB運営管理 入力データ収集等	
6	保険料	自賠責・傷害保険	9,550
7	会場設営費	ディスプレイ制作等	173,335
8			
9			
10			
合 計			1,973,955

※ あらかじめ記載してある項目以外に、事業に関わるものがあれば全て記載してください。  
 ※ 領収書等、事業に関わる支払を証明する書類の写しを必ず添付してください。

## 5 成果報告会 アンケート結果

### アンケートの概要

実施日	令和元年（2019年）6月22日（土）
対象	成果報告会への来場者
内容	各団体の活動や成果報告会等に対するご意見・ご感想
回答者数	15名

### (1) 各団体へ寄せられたご意見・ご感想

事業名	外国人の支援・交流事業	
団体名	NPO法人八王子国際交流センター	掲載ページ P5

- ・ とても意義のある活動だと思いますが、収支計画書がよくわかりません。活動の内容が相談だけ？講師の謝礼が13回/13,000円？（60代）
- ・ 外国人支援の意義は確かにあるのですが、活動そのものの内容説明が少ないように感じました。（70代）
- ・ いろいろ問題の多い事柄。教育面、子育て面など大変だと思いました。（70代）
- ・ マンツーマンでの対応は良いと思います。（50代）
- ・ 大切な活動ですので、これからの活動に期待します。（50代）
- ・ 今後、増大するであろう外国人労働者にとって、心強い活動だと思います。（70代）
- ・ 少々内容が難しく感じましたが、地域の向上を願っています。（80代）
- ・ 説明の内容がよく伝わってきませんでした。
- ・ 八王子としての特色ある活動は何かありますか。組織的には、どのような形を目指していますか。マンツーマン方式は、期待できる方法と思います。（70代）
- ・ 「近くにいる外国にルーツのある方に優しい声かけを！」という最後の呼びかけに心を打たれました。自分ごとになりました。（30代）

事業名	一緒に遊ぼう！一緒に創ろう！みはらしプレーパーク@八王子	
団体名	みはらしプレーパークの会	掲載ページ P9

- ・ すばらしい取り組みですね。自宅近くでこんな楽しいことを行っていたとは知らなかったです！この活動で子どもたちの過度ないじめも減りますね。親業にもつながりますね。（60代）
- ・ 面白い企画ですね。“外遊び”は重要です。スタッフの能力開発はうまくいっていますか？（70代）
- ・ 未就学のお子さんを持つ若いお母さんに求められる交流の場や、地域の子どもの遊びの場をつくっている良い活動だと思います。（70代）
- ・ 子どもが外で遊ぶ機会が少なくなっているため、良い取り組みであると思います。また、発表者の発言にもあったとおり、自分の子を知る良い機会であると思います。ちょっと危ないことをさせることも大変大切なことだと思います。（50代）
- ・ 参加したことはありませんが、喜ぶ子どもの顔が浮かぶイベントです。今後も頑張ってください。（50代）

- ・ とても素晴らしい取り組みだと思います。他の地域でも身近なところで増えていくと良いです。新たに同じような団体を立ち上げたい方への支援講座のニーズもありそうですね。(30代)
- ・ 地元の自然を生かした外遊びに子育て。ママ達の力はすごいと思いました。(70代)
- ・ 少子化されてきてますが、親子が楽しめる行事を沢山やってください。(80代)
- ・ こういうところがあるという事を知りませんでした。もっともっと増えていくことができればいいと思いました。(60代)
- ・ 町会からの寄付は無理でしょうか？
- ・ 子どもの外遊びは大切な事で、自然から学ぶ事はたくさんあります。子どもが自主的に外遊びを考えることを進めてください。最近は、親自身も知らない事が多すぎる。親も子ども時代に帰り、学んでほしい。(70代)
- ・ 「ちょっと危ない」、「ひやっと」の原体験の場はとても大切。現地へ訪問したいです。もっと八王子で活動団体が増えるには??(30代)
- ・ 「怪我と弁当は自分持ち」というストレートなスローガンはわかりやすい。(60代)
- ・ とてもわかりやすかったです。八王子の中で、こういう動きが沢山起こっていくといいなと思います。(30代)

<b>事業名</b>	<b>八王子の歴史紙芝居制作事業</b>		
<b>団体名</b>	<b>八王子市郷土資料館ガイドボランティア 紙芝居会</b>	<b>掲載ページ</b>	<b>P13</b>

- ・ 新規に引っ越してきた方や、既に住んでいる方に八王子の歴史を知ってもらい、市に愛着のある市民が増えるとよいですね。(60代)
- ・ 題材が貴重だったと思います。今後とも期待されますね。(70代)
- ・ 10年以上もの長い間、取り組みを続けられていることは素晴らしいと思います。是非、継続して欲しいと思います。(50代)
- ・ 今度、上演会に参加させていただきます。(50代)
- ・ 郷土愛にあふれた方々の活動、素晴らしいです。月1回という頻度で紙芝居の絵を描かれたイラストレーターさんもすごいですね。(70代)
- ・ 単に紙芝居を行うのではなく、八王子にゆかりのある人物や出来事を選定されて取り組まれているのが印象に残りました。(40代)
- ・ これからの活動を期待しています。最近は、“昔話”という言葉が少なくなっていますね。(80代)
- ・ とても楽しそうな事業ですね。末長く続くことを願っています。(60代)
- ・ 紙芝居の内容は八王子にとってベーシックで興味深いものなので、是非、情報宣伝活動をもっと行ってほしいです。
- ・ 定例会として実行されている事は素晴らしい。J:COMさんのTV放映はいかがですか。(70代)
- ・ 地域への愛がなければできない活動だと思いました。一番、この活動を届けたい人は誰でしょうか？そして、その方が語り手側になるにはどんなメッセージが必要なのでしょう？(30代)
- ・ 一度見てみたいです。(60代)
- ・ 高齢の方ばかりだと話されていましたが、とても意欲的に作られていて驚きました。自分の住んでいる土地を知る、歴史を知るということは、とても必要だと思います。いつか見てみたいです。(30代)

<b>事業名</b>	<b>難病を元気にする！！(難病カフェ ラ・フェルマータ)</b>	
<b>団体名</b>	<b>特定非営利活動法人難病ネットワーク</b>	<b>掲載ページ P17</b>

- ・ 短時間だったので、QR コードの操作は無理かなと思いました。「カフェ」の意味は何だったのでしょうか？(70代)
- ・ 少し内容がわかりにくかったので残念です。(50代)
- ・ ネット配信で活動を広げられているとのこと。今後の活動の参考になりました。(70代)
- ・ 報告会の参加者の方にも、QR コードを読み込んでもらって視聴してもらうという方法は新鮮でした。具体的な活動内容をもう少し教えてもらいたかったです。(40代)
- ・ ネットやスマホを使用して出来た人は少なく難しかったですが、興味はありました。(80代)
- ・ 活動内容をもっと具体的にアピールして欲しかったです。
- ・ 事業は素晴らしい活動と思いますが、ラ・フェルマータの表現は、馴染みがなく、もっと親しみのある名にされたらと思いました。当事者以外の一般の方にも検索しやすい事が必要と考えます。(70代)
- ・ 難病にかかるという不安や孤立感を、ネガティブに捉えることなく、「チャンス」をつくる活動。IT スキルと想いがあるからこそできると感じました。(30代)
- ・ スマホを使っのやりとりは、事前に案内してもらったら、準備が出来たのではないのでしょうか。(60代)
- ・ ネットにアクセスができず、少しわかりづかったですが、やられていることはとても必要とされている分野だと思いました。(30代)

<b>事業名</b>	<b>地域食堂の立ち上げ</b>	
<b>団体名</b>	<b>団地応援隊</b>	<b>掲載ページ P21</b>

- ・ 地域食堂、子ども食堂の活動が必要となる⇒地域コミュニティの活性化ができる⇒本来なら自治会が活発に運営されていれば問題ないのだが。(60代)
- ・ 分かりやすい報告でした。(70代)
- ・ 目的が素晴らしい。人々のつながりづくりや住民同士の助け合い、見守り。お弁当や惣菜づくりも住民の思いを考慮して作るという思いやりがすごい。発表力もとても良い。(70代)
- ・ 食をきっかけに、孤立化防止、安否確認、人と人とのつながり、学生との協働、ボランティアなど地域づくりを進めることは素晴らしいと思います。是非、続けて欲しいと思います。(50代)
- ・ 地域食堂は、これからの社会でとても大切な事業になると思います。これからも頑張って活動してください。(50代)
- ・ 活動により、地域が賑やかになったことが伝わりました。今後も無理なく続けていただければと思います。(30代)
- ・ 立ち上げられたボランティアの方々の熱意とパワーに、ただただ頭が下がります。お話を聞いているだけで元気がいただきました。(70代)
- ・ 「地域の課題を地域の方で解決を図る」という図式は、市民企画事業(市民協働)の理想形ではないかと思いました。発表者の説明から充実した取り組みであることが伝わってきました。1つの事業が他の様々な事業(ひきこもりや孤独死の予防)に波及して相乗効果を生み出していると感じました。(40代)
- ・ 高齢化している地域をボランティアさんも高齢にかかわらず元気に頑張っている姿に感動！！(80代)
- ・ 代表の方の元気さがすべてです。もっともっと地域のためになれば良いと思います。(60代)
- ・ エネルギッシュに活動なさっていて、圧倒されました。

- ・ 館ヶ丘以外に活動が広がるといいですね。(70代)
- ・ 地域や大学、住民の支えがあって、今の活動がある。そのことへの感謝の気持ちが深く伝わってきました。多世代交流、ご近所の集いの場であるこの活動は、ますます大きなうねりを起こしていく予感がしています。今後も応援しています。(30代)
- ・ 報告について、きめ細かく写真も多くわかりやすかったです。また、日々、努力されていることが数字となって表れているのがわかりました。子どもランチについて、もう少し説明があればよかったです。がんばってください。(60代)
- ・ 地域ぐるみで、若い人から高齢の方までもが関われるよい事業だと思いました。食堂からスタートし、保健室など他分野にも広げられていて、とても意欲的で驚きました。(30代)

<b>事業名</b>	<b>自助具制作・普及による肢体不自由者・高齢者の自立促進活動の活性化</b>		
<b>団体名</b>	<b>八王子自助具工房フレンズ</b>	<b>掲載ページ</b>	<b>P25</b>

- ・ 地味ですが大切な活動ですね。やはり後継者の育成が(どこでもそうですが)課題なのですね。(70代)
- ・ 身体が不自由な方に寄り添って、1件ずつニーズをヒアリングしながら個別に作られている活動は、頭が下がる想いです。(60代)
- ・ 「自助具」という言葉を初めて知りました。すばらしい活動ですので、是非継続して活動してほしいです。(30代)
- ・ 高齢者が増えてくる中、こういった活動は大変意義があると思います。(50代)

<b>事業名</b>	<b>みんなのハロウィン(街を知り商店と繋がる周遊型イベント)</b>		
<b>団体名</b>	<b>みんなのハロウィン実行委員会</b>	<b>掲載ページ</b>	<b>P29</b>

- ・ 大変楽しい企画ですね。八王子は広いので、色々な地区での今後の活動は大変そうです。各地区で同じような活動が増えてくることを祈っています。(60代)
- ・ 子どもたちが喜んだという報告に賛同しました。(70代)
- ・ 防災をテーマに楽しい町づくり、参加できる企画が良い(体験できるのが素晴らしい)。チラシが明るく楽しい。お客様に楽しいイベントだと認知されていることがすごい。(70代)
- ・ 保育園、幼稚園を通じて、周知を図ることができたのが、参加者増につながったのだと感じました。参加者の満足度も高く、子どもたちも楽しめるイベントであったようなので、続けて欲しいと思います。(50代)
- ・ 安心と楽しさというコンセプトの中で多くの方を巻き込んだイベントは、地域を盛り上げていくうえでとても重要だと思いました。(50代)
- ・ 「子育て」という内にこもりがちなたちのママ達が、商店街を巻き込んでこれだけのイベントを企画・実行したことに感動しました。(70代)
- ・ 街の発展に向け、さらなる活動を望みます。(80代)
- ・ これ程大きくかつ有効で意義のあるイベントをなさったことに敬意を表します。
- ・ いちよう祭り、市民センターまつり等々たくさんありますが、もう少し統一して運営できないでしょうか。活動自体はすばらしい事と思いますので、継続して欲しいです。(70代)
- ・ Q&Aで、防災とはまちとつながるハードルを下げて、他の家族や子のことを気にかけて関係性を育むことと捉えているというお話は、とても大切なことを含んでいると思いました。(30代)
- ・ 「周遊型」というイベントについて、あまり意識して考えたことがなかったので、新鮮に聞けました。(60代)

<b>事業名</b>	<b>高齢者のための八王子ニュータウン地域住民主体のノルディックウォーキング介護予防事業</b>	
<b>団体名</b>	<b>特定非営利活動法人ヒューマンサポートネット</b>	<b>掲載ページ P33</b>

- ・ もっともっと広めていく可能性がありますね。(70代)
- ・ 高齢者が外に出るきっかけになると良いと思います。健康づくりにも役立つし、他の人と交流できることで、ひきこもり防止につながればと思います。1人で気軽に自分のペースでできるので、広がる要素があると感じました。(50代)
- ・ さらに多くの方にノルディックを知ってもらえるような活動をすることで、介護予防に活用して欲しいです。(50代)
- ・ ノルディックウォーキングの有効性について、広い野外の広場で実施している写真を見て、いいなあと思いました。(60代)

<b>事業名</b>	<b>地域の自然資源を活かした里山体験教室事業</b>	
<b>団体名</b>	<b>特定非営利活動法人小津倶楽部</b>	<b>掲載ページ P37</b>

- ・ 「水」に関わる活動は考えなかったのでしょうか？(70代)
- ・ 地域資源を季節に合わせた活動内容で興味深かったです。(70代)
- ・ 地域の資源を活用して地域で稼ぐという発想が素晴らしいと思いました。それを実行することができたことは、努力の結果であると思います。特に、四季を通じたイベントの実施は、参加する方にとって定期的に来ることができるので、良かったと思います。(50代)
- ・ これからもコミュニティ・地域の活性化に取り組んで、八王子を盛り上げて欲しいです。(50代)
- ・ 小津は八王子にある大切な資源だと思います。何より少しおしゃれな感じが、敷居を低くし参加しやすくなっていると思いました。(30代)
- ・ 里山活動を通して、獣害を減らす方策も含めてね。(70代)

<b>事業名</b>	<b>八王子市 犬猫殺処分ゼロミッション 保護活動事業</b>	
<b>団体名</b>	<b>「津久井・橋本・八王子」犬猫の会</b>	<b>掲載ページ P41</b>

- ・ 猫の殺処分数が減少していますが、その最大の理由は何でしょうか？(70代)
- ・ 犬猫の新しい飼い主を探すことに苦労があることと思います。動物に罪は無いと思います。殺処分ゼロを目指して欲しいと思います。(50代)
- ・ ペット人口が増えているなかで、引き続き活動を応援しています。(50代)
- ・ 今ちょうど、原田マハ「一分間だけ」を読んでおり、考えていたのは「命の大切さ」でした。命の大切さを、私たちはもっともっとこの問題から学ばなくてはと思いました。(30代)

<b>事業名</b>	<b>説経節研究 十代目薩摩若太夫CD集の刊行</b>	
<b>団体名</b>	<b>説経節の会</b>	<b>掲載ページ P45</b>

- ・ 初めて知りました。どのような人たちを対象にしているのですか？図書館で聞けるのですか？(70代)
- ・ CD集を聞いてみたいです。(70代)
- ・ 機会がありましたら聴いてみたいと思います。(50代)

事業名	HACHIDORI ～HACHIOJI ROCK DREAM	
団体名	HACHIDORI フェスティバル実行委員会	掲載ページ P49

- 直接、参加して聴きたいです！（70代）
- 若さあふれる活動に感動しました。（70代）
- 学園都市としての八王子の魅力の発信のひとつだと思いました。バンド130組、アイドル20組の参加の多さにビックリしました。八王子がロックバンドを目指す若者たちの聖地になれば良いと思います。（50代）
- 参加したことはありませんが、今後参加してみたいと思いました。さらに出演者も増えて盛り上がると、八王子の代表的イベントになると思います。（50代）

## （2）市民企画事業補助金制度についてのご意見・ご感想

### 【公益的な市民活動に対する市からの支援についてどのような支援があると良いと思いますか】

（複数回答可の設問 最も必要だと思われるもの1つに◎をつけてください）

1.	補助金による支援	◎ → 4名	○ → 5名	計 9名
2.	活動の場の提供	◎ → 1名	○ → 2名	計 3名
3.	施設使用料等の減免措置	◎ → 0名	○ → 2名	計 2名
4.	活動の情報発信面での支援	◎ → 4名	○ → 1名	計 5名
5.	団体間の交流の場・機会の提供	◎ → 0名	○ → 2名	計 2名
6.	機材や資材の提供	◎ → 0名	○ → 1名	計 1名
7.	講師・スタッフ等人材の派遣	◎ → 0名	○ → 0名	計 0名
8.	人材育成	◎ → 0名	○ → 1名	計 1名
9.	団体・人材の斡旋	◎ → 0名	○ → 1名	計 1名
10.	その他			

- どれも必要ですが、一番根っこは、愛と信頼だと思います。現地を訪れ、どうしてこの活動が始まったのか、その活動はこれからのまちづくりにどう良い影響を持つのか、向き合って聞き書きをし、それを発信する役割を市が担うことができれば、市民はもっともっと生き生きつながり合えるのだと思いました。（30代）
- 地域の活性化であれば、地域の自治体を巻き込む政策が必要だと感じました。（60代）

### 【補助金制度についてのご意見】

- 補助金が市民活動のひとつの「インセンティブ（動機）」になるわけですが、これは当然、市民への「公共的」サービスへと結実するものですね。運用のところが肝だと思いました。（70代）
- ボランティア活動自体は、自立を目指したいが、現在利用者訪問に自家用車を使う頻度が高いので、ガソリン代等の補助をもらえるようにしてほしい。（70代）



### (3) 成果報告会についてのご意見・ご感想

- 地域（自治体）が活性化すれば、いろいろな市民企画が特色をもって自治体で出来れば良いですね。（60代）
- 初めて参加しました。こういうものなのか、というのが率直な感想です。（70代）
- 発表時間が、1団体10分はちょうど良いと思いました。（50代）
- みなさんの活動を知る良いきっかけになりました。（50代）
- プレゼンに対して、もう少ししっかり指導すべき団体があった。
- 良く準備されていて、好感が持てた。（70代）
- 座長が話されたCコース（事業発展部門）、とてもいいと思いました。今の場も、成果発表後に団体同士が交流し合えるプログラムがあったらいいなと思いました。そこから、次のCコース（事業発展部門）のプログラムの申込みに発展する可能性は大きくあると思います。ということは、「成果報告&交流会」と名うつということはいかがでしょうか。（30代）
- A・B・Cの各部門の内容について、今日の資料にあると良かったです。たくさん学びになりました。（30代）
- 生で活動の報告を聞いてよかったです。紙の報告書だけではわからなかった内容や苦勞について知ることができました。もっと多くの団体や市民が参加できるようになればと思いました。（60代）

## 6 交付団体連絡先一覧

区分	団体名	代表者名	連絡責任者		
			氏名	住所	電話番号
活動支援部門	NPO法人 八王子国際交流センター	森屋 光	森屋 光	八王子市東浅川町990番地2	042-664-8637
	みはらしプレーパークの会	北見 みゆき	北見 みゆき	八王子市七国4-24-11	042-638-0797
	八王子市郷土資料館ガイドボランティア 紙芝居会	大高 利一郎	池田 ヨネ	八王子市明神町3-17-6-209	042-648-7593
	特定非営利活動法人 難病ネットワーク	恒川 信一	恒川 信一	八王子市みなみ野4-25-1-321	042-686-0056
事業実施部門	団地応援隊	水谷 徳子	水谷 徳子	八王子市長房町230-101	042-649-5267
	八王子自助具工房フレンズ	伴 毅	伴 毅	八王子市東浅川町549-6 プレミスト高尾サクラシティ438	090-6554-0515
	みんなのハロウィン実行委員会	西室 真希	西室 真希	八王子市明神町2-14-12	090-5349-4777
	特定非営利活動法人 ヒューマンサポートネット	笹淵 勝彦	笹淵 勝彦	八王子市元八王子町3-2750-762	042-689-6245
	特定非営利活動法人 小津倶楽部	前原 教久	青木 勝美	八王子市小津町581番地	080-6890-8609
	「津久井・橋本・八王子」 犬猫の会	石躍 昌美	石躍 昌美	八王子市川口町433-5	080-5020-0631
	説経節の会	坂田 宏之	坂田 宏之	八王子市川町128-158 園部方	042-757-8207
HACHIDORIフェスティバル 実行委員会	奥 泰正	奥 泰正	八王子市三崎町2-5 鳳来ビル1F	042-626-2282	

平成30年度交付  
市民企画事業補助金  
成果報告書



令和元年（2019年）7月発行

発行 / 八王子市  
企画・編集 / 市民活動推進部協働推進課

〒192-8501 八王子市元本郷町三丁目 24 番 1 号  
電話 042-620-7401 FAX 042-626-0253  
e-mail b050700@city.hachioji.tokyo.jp  
URL <http://www.city.hachioji.tokyo.jp/kurashi/shimin/001/003/index.html>

---